

地域別まちづくりの方針新旧対照表

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 一番町（一部）、二番町、三番町（一部）、四番町、五番町、六番町

現行都市計画マスタープランでの まちづくりの方針（太字：継承のポイント）	主な論点(見直し・強化のポイント) 都市計画審議会(2020.07.07 時点)	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中層・中高層の住居系の複合市街地として、番町の落ち着いたたたずまいを活かし、住宅を中心として教育施設、商業、業務施設が調和・共存したまちをつくります。また、空間的ゆとりがあり、緑に包まれた心やすらぐ住環境、美しい街並みを誘導・創出します。	○文教地区としての特徴を踏まえた方針の強化 ○住居系複合市街地として、都心生活を豊かにする機能として、商業・業務機能の具体的なイメージ（交流、サードプレイス、子育てなどの機能を含めて） ○地区計画の目標・方針の確認	（番町） ・番町は昔から職住が近く、それが素敵なコミュニティをつくっています。これからさらに必要なことは住む人も働く人もすごしやすい街づくりを(6) ・番町は「住居」「商業」「ビジネス」の融合を目指すべきだと思う(9) ・変化に対応した柔軟なまちづくり計画を考えてほしい番町はもっと良くなるはず(12) ・現行の都市マスにより20年の長きにわたり番町としての品格、高い評価、安全性を形成して来た(20) ・園児や子どもたちが遊んでいる様子はほほえましく、番町にふさわしい風景だと思います(21) ・高層マンションばかりのまちにはなってほしくないです。職住の両方があるまちが番町だと思います(22) ・千代田区は全体としては国際ビジネス交流としても番町は子供、老人を含む居住地区なので落ち着いた居住環境を保って欲しいと思う(24) ・丸の内永田町大手町はオフィスビル 番町は文教住宅とはっきりさせてほしい(25) ・番町は住宅街であり文教地区である。高層ビルは不要(27) ・新宿区による四ツ谷の位置づけが市ヶ谷・番町の位置づけに影響される必要はない。濠のこちら側は静かな住宅街であっても新宿とは異なる(28) ・落ち着いた街並みというのがこの番町麴町の良いところ商業施設が少ないならばそういう場所に行けばいいだけ(30) ・文教・住宅地区である番町の用途を変える必要はない。なぜ変えようとしているのか？(32) ・千代田区でも麴町番町地区は住居が多いので経済発展利便性もさることながら、まずは住民にとってよい環境を維持すべき(34) ・番町周辺は同じような高さのマンションが建てられたが歴史あるまちなみ良好なまちなみとなっていない(37) ・日テレ通りの商業地としての環境と一番町や六番町の静かで落ち着いた住環境は完全に分離して考え、メリハリをつけた検討が必要に思う(39) ・番町、市ヶ谷四ツ谷麴町は生活圏としてつながっている。それぞれのエゴを出さず全体としての魅力アップを！(43) ・番町地区の街づくりは単独ではできない。特に旧番町だった九段北、南などと連携しないとだめ（番町の軸を拡げて）(45) ・番町・麴町地域ならではのコミュニティの形成の検討をお願いします。（新しいコミュニティの形）住民、事業者、学生がつどうこの地域ならではの方向性を望みます(79) ・盆踊りの継承は地味に大事！番町の庭のイベントも早く復活を！(95) ・番町に商業・業務の賑わいをもっと進めてほしいです(96) ・番町には新宿池袋などの副都心のようにぎわいは不要。落ち着いた街並みを維持してほしい(113) ・番町周辺に子どもたちが遊んだり、散歩ができる身近な自然がない(120) ・（No.120の意見に対して）そうですか？皇居北の丸東御苑千鳥ヶ淵等々、開発が進んでいる他地域よりあると思います(122a) ・番町の庭をいつまでも残してください。なくなると街の魅力が半減してしまいます(124) ・街なかには緑がすくないと感じます。番町らしくない(161) ・一見緑は増えているデータになっていますが、番町地域には閉鎖的な敷地内の緑が多く人が触れることのできるみどりが少ないように感じます(167) ・緑の大きさが番町はないのが残念です。太陽、星、自然を仰ぎ見れると良いのですが・・・天空率？(185) ・番町地域で多く工事が行われているが緑化も工事と同時に進めてもらいたい(186) ・番町の庭について、地域に必要な広場です。日テレ開発にも取り込んで欲しいです(196) ・市ヶ谷付近に行くには今は日テレ通りしか通っていませんが、歩行者専用の道をつけてくれると嬉しいです(233) ・番町地域の風土歴史を生かして画一的な企画をしないでほしい(263) ・日テレうんぬんの前に番町地区の高層マンション開発を何とかできないか。すべてヴィンテージマンションなら景観問題はおきないはず(271) ・四ツ谷市ヶ谷と番町界限は開発の視点を当然変えるべき。そもそも番町の歴史に「開発」は必要なのか(280) ・「中層・中高層」の言葉は絶対に残すべき(294) ・番町の歴史趣を残す環境を維持して頂きたい。高層ビルの建築には人口増交通渋滞増(296) ・番町一帯の個性を守り、受け継ぐことが江戸東京の中心地としての品格や文化につながると思う。安易な高層化しないで、目先の判断に捕らわれずまちづくりをしてほしい(297) ・高層化は番町らしさと同じ方向とは思えません（特に超高層）(302) ・超高層は必要がないと思う。番町の街並みには似つかわしくない(303) ・麴町番町といわれる風格のある街づくりができていますか。ただ高い箱が出来ている(305) ・番町地区の大型マンションが増えて空が見えなくなり、賃借物の賃料が下がりそう(308) ・一番町～四番町の地区計画ビジョンを実現するための地区計画に変更してください(319)	中層・中高層の住居系の複合市街地及び文教地区としての番町の落ち着いたたたずまいを活かし、住宅を中心として教育施設、商業・業務施設が調和・共存したまちをつくります。また、空間的ゆとりがあり、緑に包まれた心やすらぐ住環境、美しい街並みを誘導・創出します。 ◇中層・中高層の複合市街地として、空地の創出、敷地や建物の緑化を進め、ゆとりとうるおいのある良好な住環境づくりを進めます。 ※地区計画やまちの実態を踏まえ、用途地域別による記載の別をなくしたため削除。 ◇市ヶ谷駅周辺は、市谷見附跡の歴史性や外濠公園との連続性を高めながら、都心の交通結節点として、都心生活の質を高める機能を充実させていきます。 ◇二七通り、麴町駅と半蔵門駅を結ぶ通り（一番町児童館前の通り）沿道は、既存の商店を活かし、中高層の建築物の低層部に生活利便のための店舗が並び、憩いや集いの広場も備えた個性と魅力のあるまちとしていきます。 ※日テレ通りの方針は、⑧エリア回遊軸で記述
◇第一種住居地域に指定されている地域や住宅の多い区域においては、中層の市街地を保全し、積極的に良好な住環境を創出していきます。	○緑・オープンスペースの充実、建物更新等による防災性向上のあり方		
◇第二種住居地域など中高層の市街地が成形されている区域においては、壁面後退などによる空地の創出、敷地や建物の緑化を進め、ゆとりとうるおいある住環境づくりを進めます。	○地域の課題対応と建物更新の貢献のあり方（長寿化・リノベーション、個別建て替え、再開発等）		
（現行 MP に記載なし）	まちの魅力再生・創造拠点 【市ヶ谷（新規）】 ○骨格構造図を踏まえて、ゲート性を意識したまちづくり ○番町地域の都心生活の質を高める拠点機能の充実 ○地上・地下・まちをつなぐ移動空間のあり方		
◇日本テレビ通り、二七通り、麴町駅と半蔵門駅を結ぶ通り（一番町児童館前の通り）沿道では、既存の商店を活かし、中高層の建築物の低層部に生活利便のための店舗が並び、憩いや集いの広場も備えた個性と魅力のあるまちづくりを進めます。	エリア回遊軸 【日本テレビ通り沿道（独立）】 ○市ヶ谷駅・麴町駅をつなぐ主要なアクセスルート、エリア回遊軸としてのイメージを明確化 ○沿道の低層階の賑わい、都心生活を豊かにする機能の連続性の維持のあり方 【二七通り、麴町駅と半蔵門駅を結ぶ通り（一番町児童館前の通り）】 ○歩きやすい環境創造（沿道の歩行空間等）のあり方		

◇番町中央通りは、住宅地のたえずまいにふさわしい、緑豊かでにぎわいのある道路としての整備を進めます。そして、低層部に店舗や業務施設のある中高層住宅が並び、散歩やウィンドウショッピングが楽しめる通りとしていきます。	エリア回遊軸 ○都市計画道路としての整備の方向性（見通し・可能性） ○上記を踏まえたエリア回遊軸としての沿道土地利用、街並み形成のあり方	・番町地域には築４０年以上の老朽化した共同住宅が多く存在するので、区として耐震補強施策支援策や建て替えの際の容積のさらなる割り増しを検討した方が良いと思う(331) ・高さを規制しているだけで街づくりは何も実現していない一番町～九段下(338) ・富士見地区のオープンハウス資料では「取組内容」に「落ち着いたある居住環境の継続」の一文があるが番町にないのはなぜか(373) ・これまでの将来像に書かれてあることは２０年前も今も変わらない番町のまちの姿です(380) ・機能は千代田区全体で分けるべき。番町の中で役割をわけるのは必要はない(401) （二番町） ・二番町付近には広場や緑化が増える計画として欲しい(407) ・二番町、麴町の緑が少ない。緑が増えるために緑化の義務と各種緩和のバランスをもった計画を策定して欲しい(408) ・二番町の緑被率をもっとあげるような街づくりを進めてください。子供たちが遊べる広場、緑を増やしてください(409) （二番町日テレ跡地） ・番町地域は日常の買い物が不便なので二番町の日テレ跡地再開発にあたっては生鮮食品を担うスーパーマーケットを誘致して欲しい(199) ・(意見 No.199 に対して)賛成です。マンションも増えており地域住民が利用できるスーパー公園がほしい(200) ・日テレの６０ｍを超える高層化は絶対反対(287) ・日テレの計画を早く明らかにしてほしい。静かな環境を維持できるよう期待(410) ・地下鉄有楽町線麴町駅の番町口にはエレベーターやエスカレーターが多く長年高低差 9M69 段の階段に苦しめられてきたので、二番町の日テレ跡地再開発に当たってはバリアフリー対策を施してほしい(411) ・二番町の日テレ跡地は市ヶ谷と麴町四ツ谷と一番町が交わる交点に当たるので再開発にあたっては交通広場など交通結節点としての役割を果たしてほしい(412) （番町学園通り・番町文人通り） ・惜しむらくは「番町と文人のまち」が行政として及び腰なところ(18) ・番町学園通り番町文人通りの歩道の拡張を希望します(414) （東郷公園） ・東郷公園をはやく再開してほしい。東郷公園と番町の庭の違いをきちんと分析し、両方のいいところを取り入れた公園と区が運営すべき(415) ・東郷公園の工事期間が長すぎる。貴重な空間が防がれている間にも子供たちは大きくなっていく。公共空間を大切に(416) （市ヶ谷駅周辺） ・市ヶ谷駅周辺は建物の更新が進んでいない。魅力創出の意味でも開発を誘導していくべき(359) ・市ヶ谷駅近辺が汚い。街並みも道路もスラム化も一部みられる。なんとかすべき(465) ・市ヶ谷駅周辺を今後整備することは必要と思うが、超高層ビル建設による開発は反対します。通り一遍の大規模開発は似合いません(466) ・市ヶ谷駅を池袋駅と同様の位置づけにすると！！市ヶ谷駅は番町麴町の入り口新宿や池袋とは全く違う場所であることを考えてください(467) ・市ヶ谷駅は JR 地下鉄ともにバリアフリーが不十分(468) ・市ヶ谷など交通結節機能が高い駅でも整備が不十分である(469) ・商業施設が少ない市ヶ谷駅に駅ビルを整備してもらいたいと思います(470) ・市ヶ谷駅を交通の拠点として位置づけてほしい(471) ・市ヶ谷駅のバリアフリー化を進めてもらいたい(472) ・JR 市谷駅の改修(473) ・市ヶ谷駅とお濠の緑の活用(474) ・JR 市谷駅前の歩行者の安全性向上が必要(475) ・市ヶ谷付近に行くには今は日テレ通りしか通っていませんが、歩行者専用の道をつけてくれると嬉しいです(233 再掲) （麴町駅周辺） ・麴町駅周辺にも様々な機能を集積させ、国際ビジネス交流ゾーンとしての役割を果たすべき(360) ・麴町駅へのアプローチ特に昇り降りは配慮して欲しい。エレベーター等がほしい(417) ・麴町駅前を地域の生活拠点にしてください。日テレ関係はチャンス(418) ・麴町駅はつかいづらい。地下鉄の暗いイメージを払しょくしてキレイに利用してやすくしてほしい(419) ・麴町駅を中心皆が集うくつろぐ楽しむ拠点づくりをしてほしい(420) ・麴町駅番町口の本格的なバリアフリー化を是非実現して頂きたい(421) ・麴町駅を中心に商業、交通、サービスが便利になってほしい。今は何も駅とつながっていない(422) ・麴町駅のバリアフリー化など課題が多い(423) ・麴町駅バリアフリー化をぜひともお願いしたい。地域貢献分を反映できる新しいルールを見直してよいと思う(424) ・麴町駅のバリアフリーを推進して欲しい（日テレ通りのにぎわいにつながるように）(425) ・歩道の拡幅。麴町駅のバリアフリーを切に望みます(426) ・住んで良かったと感じる千代田区の魅力について、青・・・まさしく改善して欲しい オレンジ・・・よりよく 交通の便・・・麴町駅のバリアフリーやバス、タクシー乗り換え(427)	※番町中央通りの方針は、⑧エリア回遊軸で記述
---	--	---	-------------------------------

② 一番町（一部）、三番町（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会(2020.07.07 時点)	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の住居系の複合市街地として、英国大使館や内濠などの大きな空間や落ち着いた住宅地の雰囲気を活かし、質の高い住宅と生活に必要な店舗を誘導し、業務施設と共存する豊かな住環境、美しい街並みを維持・創出します。	○内堀通りから大妻通りにかけてのエリアの居住環境と都心生活を支える機能の具体的なイメージ （豊かな住環境） ○地区計画の目標・方針の確認	（番町） ・番町は昔から職住が近く、それが素敵なコミュニティをつくっています。これからさらに必要なことは住む人も働く人もすごしやすい街づくりを(6 再掲) ・番町は「住居」「商業」「ビジネス」の融合を目指すべきだと思う(9 再掲) ・変化に対応した柔軟なまちづくり計画を考えてほしい番町はもっと良くなるはずです(12 再掲) ・現行の都市マスにより20年の長きにわたり番町としての品格、高い評価、安全性を形成して来た(20 再掲) ・園児や子どもたちが遊んでいる様子はほほえましく、番町にふさわしい風景だと思います(21 再掲) ・高層マンションばかりのまちにはなってほしくないです。職住の両方があるまちが番町だと思います(22 再掲) ・千代田区は全体としては国際ビジネス交流としても番町は子供、老人を含む居住地区なので落ち着いた居住環境を保って欲しいと思う(24 再掲) ・新宿区による四ツ谷の位置づけが市ヶ谷・番町の位置づけに影響される必要はない。濠のこちら側は静かな住宅街であっても新宿とは異なる(28 再掲) ・落ち着いた街並みというのがこの番町麹町の良いところ。商業施設が少ないならばそういう場所に行けばいいだけ(30 再掲) ・千代田区でも麹町番町地区は住居が多いので経済発展利便性もさることながら、まずは住民にとってよい環境を維持すべき(34 再掲) ・番町周辺は同じような高さのマンションが建てられたが歴史あるまちなみ良好なまちなみとなっていない(37 再掲) ・日テレ通りの商業地としての環境と一番町や六番町の静かで落ち着いた住環境は完全に分離して考え、メリハリをつけた検討が必要に思う(39 再掲)	中高層の住居系の複合市街地として、質の高い住宅と生活に必要な店舗を誘導し、業務施設と共存する豊かな住環境、美しい街並みを維持・創出します。 ※英国大使館等を抜き出して記述
			◇英国大使館や内濠などの大きな空間や、桜並木などの特徴的な緑や水辺の環境を活かして、四季の変化を感じさせる落ち着いた雰囲気の住環境づくりを進めます。
◇大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。また、既存の商店街を活かせるよう、歩いて楽しく、滞在性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。	エリア回遊軸 ○大妻通り～半蔵門駅通り沿道を歩いて楽しめるエリア回遊軸とするため、誘導すべき機能・空間のイメージ	・番町、市ヶ谷四ツ谷麹町は生活圈としてつながっている。それぞれのエゴを出さず全体としての魅力アップを！（43 再掲） ・番町地区の街づくりは単独ではできない。特に旧番町だった九段北、南などと連携しないとだめ（番町の軸を広げて）（45 再掲） ・番町・麹町地域ならではのコミュニティの形成の検討をお願いします（新しいコミュニティの形）。住民、事業者、学生がつどうこの地域ならではの方向性を望みます(79 再掲) ・番町に商業・業務の賑わいをもっと進めてほしいです(96 再掲) ・番町には新宿池袋などの副都心のようなにぎわいは不要落ち着いた街並みを維持してほしい(113 再掲) ・番町周辺に子どもたちが遊んだり、散歩ができる身近な自然がない(120 再掲) ・(No.120 の意見に対して)そうですね？皇居北の丸東御苑千鳥ヶ淵等々、開発が進んでいる他地域よりあると思います(122 再掲) ・街なかには緑がすくなくと感じます。番町らしくない(161 再掲) ・一見緑は増えているデータになっていますが、番町地域には閉鎖的な敷地内の緑が多く人が触れることのできるみどりが少ないように感じます(167 再掲) ・緑の大きさが番町はないのが残念です。太陽、星、自然を仰ぎ見れると良いのですが…天空率？(185 再掲) ・番町地域で多く工事が行われているが緑化も工事と同時に進めてもらいたい(186 再掲) ・番町地域の風土歴史を生かして画一的な企画をしないでほしい(263 再掲) ・日テレうんぬんの前に番町地区の高層マンション開発を何とかできないか。すべてヴィンテージマンションなら景観問題はおきないはず(271 再掲) ・四ツ谷市ヶ谷と番町界限は開発の視点を当然変えるべき。そもそも番町の歴史に「開発」は必要なのか(280 再掲) ・番町の歴史趣を残す環境を維持して頂きたい。高層ビルの建築には人口増交通渋滞増(296 再掲) ・番町一帯の個性を守り、受け継ぐことが江戸東京の中心地としての品格や文化につながると思う。安易な高層化しないで、目先の判断に捕らわれずまちづくりをしてほしい(297 再掲) ・高層化は番町らしさと同じ方向とは思えません（特に超高層）(302 再掲) ・超高層は必要がないと思う。番町の街並みには似つかわしくない(303 再掲) ・麹町番町といわれる風格のある街づくりができていますか。ただ高い箱が出来ている(305 再掲) ・番町地区の大型マンションが増えて空が見えなくなり、賃借物の賃料が下がりそう(308 再掲) ・番町地域には築40年以上の老朽化した共同住宅が多く存在するので、区として耐震補強施策支援策や建て替えの際の容積のさらなる割り増しを検討した方が良さと思う(331 再掲) ・高さを規制しているだけで街づくりは何も実現していない一番町～九段下(338 再掲) ・富士見地区のオープンハウス資料では「取組内容」に「落ち着きのある居住環境の継続」の一文があるが番町にないのはなぜか(373 再掲) ・これまでの将来像に書かれてあることは20年前も今も変わらない番町のまちの姿です(380 再掲) ・機能は千代田区全体で分けるべき。番町の中で役割をわけると必要はない(401 再掲)	※大妻通りについては、⑧エリア回遊軸において記述
		（一番町） ・千代田区において、英国大使館はとても景観や置物で良い雰囲気を出しているので、ベルギーのような開発をせずそのまま残してほしい。(277) ・英国大使館から返却された土地の活用はどうなっているのですか？(405)	

③ 麴町一・二・三・四・五・六丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
麴町大通りを軸に低層部に個性ある店舗の集積を誘導し、商業施設と業務施設との調和を進めるとともに、後背地の中高層住宅と表通りの商業・業務施設との調和を進め、活気とうるおいある街並みを維持・創出します。	（基本的に方針を継承） ○維持に加え、「うるおい」の創出を強く意識 ○地区計画の目標・方針の確認	・落ち着いた街並みというのがこの番町麴町の良いところ。商業施設が少ないならばそういう場所に行けばいいだけ(30 再掲) ・千代田区でも麴町番町地区は住居が多いので経済発展利便性もさることながら、まずは住民にとってよい環境を維持すべき(34 再掲) ・番町、市ヶ谷四ツ谷麴町は生活圏としてつながっている。それぞれのエゴを出さず全体としての魅力アップを！（43 再掲） ・番町・麴町地域ならではのコミュニティの形成の検討をお願いします（新しいコミュニティの形）。住民、事業者、学生がつどうこの地域ならではの方向性を望みます(79 再掲) ・麴町番町といわれる風格のある街づくりができていますか。ただ高い箱が出来ている(305 再掲)	麴町大通りを軸に低層部に個性ある店舗の集積を誘導するとともに、後背地の中高層住宅と教育施設、表通りの商業・業務施設が調和した、活気とうるおいある街並みを維持・創出します。 ◇四ツ谷駅周辺は、見附跡の歴史性や麴町大通りの景観を活かしたまちの顔づくりを進め、番町や大学キャンパス、外濠公園に続く歩行空間を充実させます。
（現行 MP に記載なし）	まちの魅力再生・創造拠点【四ツ谷（新規）】 ○骨格構造図を踏まえ、ゲート性と麴町大通りや半蔵門と一体的に歴史ある街並みの特性を意識したまちづくり（半蔵門、内濠、四ツ谷見附、外濠など）		

④ 紀尾井町、麴町六丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の住居系の複合市街地として、大学・ホテル・公園などゆとりある空間や緑を活かし、質の高い住宅と商業を誘導し、業務施設との調和を進め、緑に包まれた豊かな住環境、美しい街並みを維持・創出します。	高度機能連創造・連携拠点 ○機能更新に伴う国際的交流機能など、拠点機能のさらなる複合化を踏まえた方向性 ○広域的なアクセス機能の強化の方向性 ○歴史的な遺構（弁慶濠・真田濠等）や建造物等を活かした居心地の良い空間形成のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認	・清水谷公園からプリンス通りに行く歩行者動線をもっとよくしてほしい（バリアフリーに）(244) ・旧赤アリ跡商業ビルの勤務者やマンション住民などセレブのみではなく一般にも活用できるよう周知(428)	中高層の住居系の複合市街地として、大学・ホテル・公園などゆとりある空間や緑を活かし、質の高い住宅と商業を誘導し、業務施設との調和を進め、緑に包まれた豊かな住環境、美しい街並みを維持・創出します。 ◇外濠や清水谷公園の豊かな自然と起伏に富んだ地形、赤坂見附跡や旧李王邸などの歴史的資源を楽しめるように歩行空間と緑・水辺の空間をつなげて、地域の回遊性を高めていきます。
（現行 MP に記載なし）			
◇紀尾井町通りはブティック等の集積を活かし、散策やウィンドウショッピングのための快適な歩行空間等を確保し、新たな魅力と個性あるまちづくりを進めます。	○ホテル群の機能更新を踏まえた紀尾井町通りの魅力創造のあり方		◇紀尾井町通りは、通り沿いの店舗やカフェ、文化施設等とともに、沿道の緑化や快適な歩行空間・滞留空間等を充実させていきます。

⑤ 平河町一丁目、平河町二丁目、隼町

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の住居系の複合市街地として、国立劇場などの文化施設の広がりある空間を活かし、住宅施設を誘導し、商業・業務施設との調和を進め、緑ある静かな住環境を維持・創出します。	(基本的に方針を継承) ○建物のリノベーションやシェアリングエコノミーを先導する施設を活かした新たなコミュニティ形成の可能性を踏まえた方向性		中高層の住居系の複合市街地として、国立劇場などの文化施設の広がりある空間を活かし、住宅や商業・業務施設とともに、緑ある静かな住環境と調和した街並みを維持・創出します。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。	○平河町の再開発完了後の課題を踏まえて方針継続の必要性を精査 ○豊かな道路空間のあり方 ○都市計画道路（補 55 号）の整備の方向性（見直し・可能性） →エリア回遊軸で記述		◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建替えや豊かな道路、緑・広場などの空間の創出を進めます。 ◇建物のリノベーションや、シェアオフィスなどの柔軟な建物利用を広げ、まちで仕事をし、滞在・活動するひとの多様性が増していくなかで、多様な交流、共創の活動が広がり、新たなビジネスや価値創造の活動が展開しやすい環境をつくっていきます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（外濠、内濠）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
人々に親しまれている 外濠や内濠・皇居の自然を守り、大切な自然をこわすことなく次世代へ継承 できるよう 緑と水辺を整備し、美しい街並み、快適な歩行空間 をつくります。	環境創造軸 ○生物多様性、地球温暖化対策、風の通る道などに向けた方針の強化 ○街路樹のあり方 ○骨格構造図における新規位置づけの確認（麹町大通り）		多様な生物が生息する外濠や内濠・皇居の豊かな自然を守り、都心へと心地よい風が流れる快適な環境を次世代へ継承 します。 緑と水辺を整備し、美しい街並みの形成、快適な歩行空間の創出を進めます。
◇美観地区においては皇居周辺にふさわしい、緑豊かで落ち着きある街並みの形成を進めます。	○景観まちづくり計画との整合性確保 ○方針 3 を踏まえた記述の強化 〔首都東京の景観をつくる重点エリア〕 ・皇居・内濠を中心とした都心の美観・風格ある景観形成 ・外濠の連続的・一体的な景観形成／港区新宿区との連携		※美観地区については記述を削除
（現行 MP に記載なし）			◇外濠周辺の緑や石垣を保全するとともに、それらの資源を活かした空間を創出します。 ◇外濠周辺は、橋や対岸からの眺望に配慮し、落ち着いた街並みを形成するとともに、建築物は水辺を感じられるデザインとします。

b 都市機能連携軸（内堀通り、麴町大通り、青山通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）		主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。		都市機能連携軸 ○色彩等、麴町地区の地区計画の内容を踏まえた景観形成のポイントを方針として強化 ○表通りと骨格構造図（都市機能連携軸）の関係整理 〔都市機能連携軸〕 ・麴町大通り、内堀通り、青山通り 〔エリア回遊軸〕 ・日本テレビ通り、番町中央通り、大妻通り・半蔵門駅通り（麴町大通り以北）、プリンス通り	（内堀通り） ・内堀道路沿いがカフェなどもっとオープンな居場所になるとよい。水と緑の(462) （麴町大通り） ・麴町通りや靖国通り沿いの高層ビルが街並みを分断している。軒並み違法建築状態にして取り壊してほしい(429) ・麴町大通りで街並みや人々の暮らしは分析されている何とかならないのか(430)	都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間を創出します。
（現行 MP に記載なし）				◇内堀通りは、皇居周辺の緑・水辺と一体となって区民等に親しまれるよう、ゆとりある格調高い空間としていきます。
◇麴町大通りは皇居と外濠の大きな緑を結ぶ緑の道として、積極的に緑化を進め、商業・店舗を誘導するなど、集い、にぎわう多様な機能を備えた沿道空間を創出していきます。		（基本的に方針を継承） ○地区計画の目標・方針の確認		◇麴町大通りは皇居と外濠の大きな緑を結ぶ道として積極的に緑化を進めながら、商業・店舗を誘導するなど、集い、賑わう多様な機能を備えた沿道空間を創出し、中高層の風格ある沿道景観を形成していきます。また、内濠と外濠をつなぐ風の通り抜ける道として、沿道の機能更新にあたっては、環境配慮にも十分配慮した建築・開発を進めていきます。
（現行 MP に記載なし）				◇青山通りは、内濠から赤坂見附跡を通り、赤坂御用地（港区）につながる幹線道路として、首都高速道路の高架との関係性を考慮しながら、沿道の緑化や通り沿いの歩行空間の充実、建物低層部の店舗の連続性の確保などを進めていきます。

C エリア回遊軸（番町中央通り、日本テレビ通り、大妻通り～半蔵門駅通り、プリンス通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
（現行 MP に記載なし）			近接する拠点や駅、個性ある界限をつなぎ、 日常生活の移動環境やエリアの回遊の魅 力を高める軸として、まちを歩く楽しさを広げ る仕掛けを充実させていきます。
◇日本テレビ通り、二七通り、麹町駅と半蔵門駅を結ぶ通り（一番町児童館前の通り）沿道では、既存の商店を活かし、中高層の建築物の低層部に生活利便のための店舗が並び、憩いや集いの広場も備えた個性と魅力のあるまちづくりを進めます。	エリア回遊軸 【日本テレビ通り沿道（独立）】 ○市ヶ谷駅・麹町駅をつなぐ主要なアクセスルート、エリア回遊軸としてのイメージを明確化 ○沿道の低層階の賑わい、都心生活を豊かにする機能の連続性の維持のあり方	（日テレ通り） ・市ヶ谷と麹町を強く結びつけられる、にぎわい、快適性を生み出す、沿道を活性化するまちづくり方針(109) ・市ヶ谷付近に行くには今は日テレ通りしか通っていませんが、歩行者専用の道をつけてくれると嬉しいです(233 再掲) ・通行料の割に歩道幅が狭く歩きづらい（日テレ通り）(237) ・マンションに限らず旧耐震のビルが多いです。日本テレビ通りのような目抜き通りは安全性の高いビルにたてかえ歩道上空地を整備するなどの方向性を示すべきでは(250) ・災害時に安心して逃げ込める場所づくり、帰宅困難者の滞在スペースに防災情報の提携をおこなう仕組みづくりを進めてほしい。市ヶ谷駅と麹町大通りを線状でつなぎ、麹町大通りからのにぎわいと市ヶ谷、また外堀の緑につなぐ浴槽型の地区計画を日本テレビ通りに導入して欲しい(353) ・日テレ通りあの狭い道路のままで高層建物にぎわいは不要ですしまちの個性を消すだけで何もよいものにはなりません(437) ・日テレ通りは狭い。高層ビルができるとビル風が吹いて通学にも大変危険である(438) ・日テレ通り沿道の番町は引き続き中高層 60mまでの住居系まちとして、落ち着いたあるたたずまいを持ったまちとしてほしい(439) ・日テレ通りは歩道がせまく歩きづらい改善して欲しい(440) ・市ヶ谷外堀と新宿通り（麹町大通り）をつなぐ日本テレビ通りと大妻通りをしっかりと軸として整備し地域の核としてほしい(441) ・日テレ通りについては昔に比べてにぎわいなくなっている。にぎわいのある通りとして欲しい。ただし空地も必要(442) ・日テレ通りのにぎわいをつくるためには規制緩和が必要だと思います。ぜひ推進してください(443) ・日テレ通りの賑わいが少ない。ランチ難民が多い(444) ・日テレ通り（麹町ー市ヶ谷）のにぎわいも必要。番町の庭のような空地をつくってほしい。その為に建物高さや容積率を緩和するルールも必要(445) ・日テレ通りの盆踊りぜひ継続してください。地域がつながる数少ない機会なので(446) ・日本テレビ通りは現行の地区計画のままで空間的ゆとり低層部の生活利便施設は実現できていません。規制緩和して足元空間を充実させてほしい(447) ・麹町駅周辺の日本テレビ通りの歩道をベビーカーや子どもを乗せた自転車等歩行者がゆったりと安全に通行できる歩道整備をお願いしたい(448) ・日テレ通りの活気がない。歩道を上げた高層建築物を許可した再開発を推進すべきだと思います(449) ・日テレ通りは緑や広場が点在する魅力ある通りに整備して欲しい。民間のビル建て替えを生かして公開空地などの整備を行うことも良いと考える(451) ・日テレ通りの歴史を思い出すべき、日テレ通りの活気を取り戻すことが街の中心をつくる(452) ・今年は日テレ通りの盆踊りがなくて残念。地域やイベントなどで番町の文化歴史をうけついでほしい(453) ・日テレ通りは店舗が入るビルをつくってほしい。一階になにもないのはやめてほしい(454) ・日テレ通り沿道を歩きやすい環境へ賑わいづくり(455) ・日テレ通りの空地の建物については地域の防災機能を備えてほしい(456) ・日テレ通りあの狭い道路のままで高層建物にぎわいは不要ですしまちの個性を消すだけで何もよいものにはなりません(457) ・番町は何より「日本テレビ通り」の商品やにぎわいが key です(458) ・街の小さな小売店日テレ通りにあった肉屋魚屋豆腐屋八百屋がなくなり、大きなビルになってしまいました・・・従業員数は増ですよ(459)	◇日本テレビ通りは、市ヶ谷駅から麹町駅にかけて連続する歩きやすい快適な歩行空間を確保するとともに、駅周辺の建築・開発にあわせて地上・地下の移動ルートや駅周辺のゆとりある滞留空間の確保等により、駅とまちの一体性を高めていきます。沿道には、建物低層部を中心に周辺の住民や就業者などの生活利便性を支える店舗を確保していきます。
◇番町中央通りは、住宅地のたたずまいにふさわしい、緑豊かでのにぎわいのある道路としての整備を進めます。そして、低層部に店舗や業務施設のある中高層住宅が並び、散歩やウィンドウショッピングが楽しめる通りとしていきます。	エリア回遊軸 ○都市計画道路としての整備の方向性（見直し・可能性） ○上記を踏まえたエリア回遊軸としての沿道土地利用、街並み形成のあり方		◇番町中央通りは、住宅地のたたずまいにふさわしい、緑豊かでのまちの回遊を楽しめる豊かな歩行空間や、やすらぎ、憩える空間が充実した道路としていきます。また、沿道は中高層階に住宅を誘導していきます。
◇大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。また、既存の商店街を活かせるよう、歩いて楽しく、滞留性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。	エリア回遊軸 ○大妻通り～半蔵門駅通り沿道を歩いて楽しくなるエリア回遊軸とするため、誘導すべき機能・空間のイメージ		◇大妻通り・半蔵門駅通りは、既存の商店街を活かしながら、歩いて楽しく、滞留性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。このうち、大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。
（現行 MP に記載なし）	エリア回遊軸 【プリンス通り】 ○旧李王邸をシンボルとした通りの魅力創造のあり方 ○都市計画道路（補 55 号）の整備の方向性（見直し・可能性）	（番町中央通り） ・番町中央通りの拡幅は二番町ではぜひ実現して欲しいが、一番町の静かで落ち着いた住環境を守るのであれば一番町側は先送り考えた方が良くと思う(431) ・番町中央通りをわざわざ賑やかな商店街にする理由がわからない。反対(432) ・住宅地である番町中央通りはにぎわいのあるウィンドショッピングのできる通りに誘導するべきではないと思います(434) ・番町中央通りはにぎわいの軸としては失敗した。方針は変更すべき(435) ・番町中央通りにはにぎわいが必要？道路が広がるそうなので大きくはその方針なのでしょうか？人の集まるところは安全性は低くなり子育て世帯には不要！（436）	◇プリンス通りは、赤坂見附跡から麹町大通りをつなぐ都市計画道路補助線街路第 55 号線としての整備を進め、歴史的な建造物やゆとりある広場空間、学校施設などが連続する、歩いて楽しい安全で快適な歩行空間や街並み形成を進めます。

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 富士見二丁目（一部）、飯田橋一・二・三・四丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の住居系の複合市街地として富士見二丁目、飯田橋駅周辺（JR 関連用地等）の拠点再開発等により、 不整形な街区の再編や、木造住宅密集地、低未利用地の活用 を図り、安全で快適な住環境を創出し、住宅と商業・業務施設が調和したまちをつくります。	高度機能創造・連携拠点 【飯田橋（新規）】 ○住居系に限定せず、複合的な拠点の魅力向上を進めるまちづくりのあり方 ○事業完了後の方向性の確認 ○まちづくり基本構想の内容を反映	（飯田橋駅周辺） ・JR 飯田橋駅の改良が出来たので、駅前地区の再開発を早く進めてほしい。時代に合った空間と賑わいの地区にしたい（10） ・駅が変わったのと合わせて駅前一体の再開発が進むとより良い町になると良いと思います（13） ・狭隘な道や古い建物が点在しているため、再開発で駅前にふさわしい街並みにしてほしい（16） ・牛込見附、東京ルーテルセンター等の歴史的建造物の背景が超高層ビルでは困る。今後このようなことがないよう配慮が必要。（19 再掲） ・飯田橋駅前の再開発等促進区の策定は容積率の上乗せが多すぎた。高密度化しすぎたことは今後見直してほしい。（27） ・JR 東口再開発は地域の再開発とのバランスで飯田橋らしい高い価値を求めたい。（28） ・西口再開発から飯田橋東口に向かい、一体的な街づくりを進めてほしい。（29） ・飯田橋駅周辺においては、その利便性を十分に活かし、かつ、にぎわいを歩行者等の安全を確保できる整備を積極的に図るべきと思います。（30） ・飯田橋駅周辺の整備を推進し、他エリアとの競争力をもった魅力あるまちづくりを進めていただければと思います。（31） ・西口整備、再開発が完了したので、次は東口を早急に整備すべきだ。（32） ・駅周辺の再開発を完成させ、魅力ある飯田橋・富士見のまちづくりを進めてほしい。（33） ・飯田橋駅周辺は魅力ある土地なので、もっと建替えを推進し高い建物を建てるべき（34） ・狭隘な道や古い建物が点在しているため、再開発で駅前にふさわしい街並みにしてほしい（35） ・牛込橋だけでも 24 時間対面通行にしてください（36） ・飯田橋二丁目のとある家にネズミが多数生息していた。指導して欲しい。（自宅周辺にごみの一時放置が常態化）（7）	JR 飯田橋駅西口周辺と東口周辺をつなぎ、 やすらぎと歴史・文化の趣ある環境を活かした高度な都市機能・空間が連担する拠点の形成を進めます。周辺の中高層の住居系の複合市街地との連携・調和を図りながら、安全で住みやすく、働きやすい都心生活の魅力あるまちをつくります。
◇各再開発と周辺とのネットワーク化を進めるなど連携を進めていきます。	○飯田橋駅西口～東口、アイガーデンエアをつなぐ開発と連携の軸のあり方		◇JR 飯田橋駅西口の駅舎や駅前広場、牛込見附等の歴史資源を活かしたまちの顔づくりと連携して、駅東口周辺から日本橋川へとゆとりある空間の充実や都心生活を豊かにする拠点機能の育成、駅前の象徴的な街並み形成を進めていきます。
◇飯田橋駅に鉄道各線が集まる利点を活かし、再開発予定地区を中心に、地域全体の個性と魅力を高めるまちづくりを進めます。	○地域特有の歴史性・文化性や学校施設・医療施設の集積を活かし、学生等多様なひとの豊かな都心生活と文化・交流をイメージした拠点機能のあり方		◇JR 飯田橋駅東口周辺は、高質な空間と地上・地下をつなぐ移動ルートを充実させます。
◇飯田橋駅は、地域の顔にふさわしいシンボル性のある駅舎への改良や、より安全に利用できる駅として整備・改善を要請していきます。	○新しい駅舎を活かしたまちの顔づくりと歴史性と環境を活かした駅周辺の協調的な空間創出のあり方 ○飯田橋駅東口周辺のまちづくりと地上の JR 駅と地下鉄駅をつなぐ交通結節機能のあり方 ○事業完了後の方向性の確認		
			◇多くのひとが訪れる東京大神宮や商店街の連続性を活かし、居住の魅力を高める多様な機能を充実させていきます。

② 富士見一・二丁目（一部）、九段北二・三丁目（一部）、九段南二丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
全体的には中層の住居系の複合市街地として、内濠・外濠に囲まれた落ち着いたたたずまいを守りながら、住宅と教育施設、商業・業務施設が調和・共存した、空間的なゆとりと緑に包まれた豊かな住環境を維持・創出します。	(基本的に方針を継承) ※法政大学（ポアソナード・タワー）や飯田橋駅西口地区の高度利用を踏まえた再整理が必要	・牛込見附、東京ルーテルセンター等の歴史的建造物の背景が超高層ビルでは困る。今後このようなことがないよう配慮が必要(19 再掲)	中層・中高層の住居系の複合市街地として、内濠・外濠に囲まれた落ち着いたたたずまいを守りながら、住宅と教育施設、商業・業務施設が調和・共存した、空間的なゆとりと緑に包まれた豊かな住環境を維持・創出します。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。	(基本的に方針を継承)		◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。
◇第一種住居地域に指定されている地域や住宅の多い地域は、中層の市街地を保持し、積極的に良好な住環境を形成していきます。	(基本的に方針を継承)		◇中層・中高層の建物を中心としたゆとりと落ち着きのある街並みを保持しながら、外濠公園や靖国神社の豊かな緑に連なる憩いの空間を創出するなど、積極的に良好な住環境を形成していきます。
◇早稲田通りや大神宮通りでは、暮らしに密着した商店の集積を進め、生活者に便利なまちとするとともに、楽しく歩ける快適な歩行空間を創出します。	エリア回遊軸 (基本的に方針を継承)		※エリア回遊軸として記述
◇教育施設は、地域のたたずまいに調和し開放性を高めるよう、機能更新を図ります。	(基本的に方針を継承)		◇教育施設は、地域のたたずまいに調和し開放性を高めるよう、機能更新を図ります。

③九段北三丁目（一部）、九段北四丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
市ヶ谷駅が近く、外濠の自然に恵まれた中高層の住居系の複合市街地として、住宅と商業・業務施設が調和した、ゆとりとうるおいのある、落ち着いたまちをつくります。			市ヶ谷駅が近く、外濠の自然に恵まれた中高層の住居系の複合市街地として、住宅と商業・業務施設が調和した、ゆとりとうるおいのある、落ち着いたまちをつくります。

④ 九段南二（一部）・三・四丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
二七通りを中心に生活関連の商店の集積を進めるとともに、中高層の住居系の複合市街地として住宅・商業・業務施設が調和した、落ち着きあるまちをつくります。	(基本的に方針を継承)	・九段南も老朽化した建物や狭あい道路が点在しており、安全・安心なまちづくりの為に再開発による共同化をするべき(40)	二七通りを中心に生活関連の商店の集積を進めるとともに、中高層の住居系の複合市街地として、 ゆとりある歩行空間の創出や機能更新を進めながら 、住宅・商業・業務施設が調和した、 安全で 落ち着きあるまちをつくります。
◇二七通り沿道については、生活に密着した商店の集積により商店街の活性化を進めます。	(基本的に方針を継承)		◇二七通り沿道については、生活に密着した商店の集積により商店街の活性化を進めます。
◇大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。また、既存の商店街を活かせるよう、歩いて楽しい、滞留性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。	エリア回遊軸 ○大妻通り沿道のエリア回遊軸として誘導すべき機能・空間のイメージ（既存商店街というイメージでよいが）		※ エリア回遊軸として記述

⑤ 九段北一丁目、九段南一丁目、一ツ橋一丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
武道館・北の丸公園など多くの来街者のにぎやかさと内濠の水辺と緑を活かし、中層・中高層の住居系の複合市街地として、住宅と商業・業務施設が調和した、美しい景観と緑豊かな住環境の維持・創出を図ります。	高度機能創造・連携拠点 【九段下（新規）】 ○住居系に限定せず、複合的な拠点の魅力向上を進めるまちづくりのあり方 ○神保町、飯田橋、北の丸公園、竹橋への移動の起点となる連続的な空間創出と活用のあり方		武道館・北の丸公園、神保町・竹橋エリアへの回遊性を向上させるとともに、住宅と商業・業務施設、医療・福祉施設、行政機能が連携・調和した中層・中高層の住居系の複合市街地として、美しい景観と緑豊かな環境の維持・創出を図ります。
◇内濠に面した所では、景観に配慮した街並みを形成するとともに、道路の整備と併せて低層部に開放性のある空間を整備します。	○眺望空間の創出や道路・公園整備のあり方		◇北の丸公園や内濠、日本橋川などの自然景観や美観地区として景観を維持してきたまちの特性をふまえて、緑や水辺の空間、九段会館等の歴史的建造物と調和した建物のデザインの工夫などにより、美しく風格のある景観の価値をより一層高めていきます。
◇お濠を望む地域は、官公庁用地を含め、良好な環境を活かし、都心居住の実現等を図るとともに、地域の魅力と活力を創出します。	○千代田区役所等の行政中枢機能、医療・健康福祉機能等を踏まえた複合的な都市機能の創出と連携のあり方		◇内濠と日本橋川に囲まれた一帯は、良好な環境を活かして、業務、商業、文化・交流の機能とともに、医療・健康・福祉施設や区役所、国の行政機関等による複合的な都市機能を充実させ、災害時の継続性を確保していきます。
			◇特に九段下駅周辺や内濠・日本橋川に面する部分では、駅の交通結節機能を高めながら周辺の水辺や歩行者空間、建物低層部の開放性ある空間、眺望空間などを充実させていきます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（皇居、北の丸公園、靖国神社、外濠公園、外濠緑地、外濠）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
人々に親しまれている 外濠や内濠・皇居の自然を守り、大切な自然をこわすことなく次世代へ継承 できるよう 緑と水辺を整備し、美しい街並み、快適な歩行空間 をつくります。	環境創造軸 ○生物多様性、地球温暖化対策、風の通る道などに向けた方針の強化 ○街路樹のあり方	・外濠の浄化、そして神田川、日本橋川の浄化のため、是祥（不明）玉川上水の流入をよろしく願います（41）	多様な生物が棲息する外濠や内濠・皇居の豊かな自然を守り、都心へと心地よい風が流れる快適な環境を次世代へ継承 できるよう、緑と水辺を整備し、美しい街並みの 形成、開発の際には、快適な歩行空間の創出を進めます。
◇美観地区においては皇居周辺にふさわしい、緑豊かで落ち着いたある街並みの形成を進めます。	○景観まちづくり計画との整合性確保 ○方針 3 を踏まえた記述の強化 〔首都東京の景観をつくる重点エリア〕 ・皇居・内濠を中心とした都心の美観・風格ある景観形成 ・外濠の連続的・一体的な景観形成／新宿区との連携		※美観地区は廃止により削除 →テーマ③及び景観まちづくり計画により展開。
			◇外濠の水面や周辺の緑、見附跡の石垣等の歴史資源が一体となった豊かな環境を保全していきます。 ◇外濠の水質浄化等の環境改善を進め、緑と水辺、歴史的資源を活かした居心地のよい空間を創出します。 ◇外濠周辺は、橋や対岸からの眺望に配慮し、落ち着いた街なみを形成するとともに、建築物は水辺を感じられるデザインとします。

b 環境創造軸（日本橋川、神田川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
日本橋川や神田川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。	○都市型水害への対応力のあり方 ○街路樹のあり方	・外濠の浄化、そして神田川、日本橋川の浄化のため、是祥（不明）玉川上水の流入をよろしく願います。	日本橋川や神田川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。
◇水質の向上を図るとともに護岸の形態を工夫し、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 川沿いの建物などの形態を規制・誘導していきます。 川沿いに、歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。 再開発などの際に、護岸の親水化・川沿いの緑化等を進めます。	○日本橋川の舟運、防災船着き場の活用等 ○景観まちづくり計画との整合性確保 ○護岸形態についての記述は継続できるかを確認		◇川沿いの建物の形態について、まち側から河川を見通せる空間の配置や建物低層部のデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇水質の向上や川沿いの緑化、歩行空間やポケットパークなどの整備により、水辺を歩いて楽しめる環境をつくります。特に日本橋川については、両岸一体となった水辺空間の活用と連携を進めていきます。 ◇護岸の形態を工夫し、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。
◇日本橋川については、改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。	○現状の高速道路地下化の方向性（神田橋から日本橋方面）を踏まえた記述のあり方		◇日本橋川については、改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。

c 都市機能連携軸（靖国通り、内堀通り、目白通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
			都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。
			◇内堀通りについては、皇居周辺の緑と水辺と一体となって区民等に親しまれるよう、ゆとりある格調高い空間となるように整備・保全を行っていきます。

d エリア連携軸（早稲田通り、大神宮通り、代官町通り、大妻通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
		・大神宮の存在を生かして、通りの商店会の活性化を図ってほしい。若い人を呼び込めるように（24） ・牛込橋だけでも 24 時間対面通行にしてください（36 再掲） ・大神宮通り商店街の街並みを魅力的にしたい。店の看板がどぎつい。統一性がない。テナントの選択をしてほしい。神楽坂に負けないブランドを作りたい（37） ・大神宮通りを歩いて楽しい道にしたい。（38） ・大神宮通り、早稲田通りのポテンシャルが活かされるまちづくりをしてほしい（39） ・大神宮通り、早稲田通りのポテンシャルが活かされるまちづくりをしてほしい。 ・早稲田通りの交代式一方通行の標識をわかりやすくして外から初めて来たドライバーにもわかるようにしてほしい（42）	近接する拠点や駅、個性ある界限をつなぎ、日常の生活の移動環境やエリアの回遊の魅力を高める軸として、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。
②より移動 ◇早稲田通りや大神宮通りでは、暮らしに密着した商店の集積を進め、生活者に便利なまちとするとともに、楽しく歩ける快適な歩行空間を創出します。	エリア回遊軸 （基本的に方針を継承）		◇早稲田通りは、北の丸公園から牛込橋、神楽坂をつなぐ軸として、沿道の教育施設や商店街がつくる風景の変化を楽しみながら歩ける、快適な歩行空間を創出します。 ◇大神宮通りでは、東京大神宮を街並みや回遊のシンボルとした街並みを形成し、早稲田通りとともに、暮らしに密着した商店の集積を進め、多様なライフスタイルを支える生活空間としていきます。
④より移動 ◇大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。また、既存の商店街を活かせるよう、歩いて楽しい、滞留性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。	エリア回遊軸 ○大妻通り沿道のエリア回遊軸として誘導すべき機能・空間のイメージ（既存商店街というイメージでよい）		◇大妻通り沿道では既存の商店街を活かせるよう、歩いて楽しい、滞留性をもたせた快適な歩行空間づくりを進めます。
			◇代官町通りは、麴町・番町地域とつながる軸として、ゆとりのある安全で格調高い歩行空間を創出します。

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 神田駿河台一・二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
全体的には中層の複合市街地として、駿河台の緑が多く文化的なたたずまいを活かしながら、住宅と教育・医療施設が調和した、落ちつきのあるまちをつくります。	（基本的に方針を継承） ○お茶の水仲通りと本郷通りの間のエリアも含めて再整理 ○地区計画の目標・方針の確認	（お茶の水） ・御茶ノ水・神保町は高低差がありバリアフリーの配慮があるといいです。散歩を楽しみたい。(59) ・御茶ノ水駅→学生街→神保町駅に至る回遊軸があっても良いと思います。(84) ・御茶ノ水駅前の歩行者専用道路化→搬出入車両の整備物流施設設置により容積率緩和を！ ・御茶ノ水駅前のまちの将来像についてしっかり考えて実現させる活動をすべきと考えます（神田公園地域 231） ・御茶ノ水駅に駐輪場が必要（神田公園地域⑧） ・お茶の水駅前は物流車両が多く、飲食や音楽の搬出入車両も多い。ここが全て路上駐車しており、景観悪化だけでなく、歩行者の危険な事故を招く可能性が高い。物流の地域拠点を設け、地域のネットワークにより安心・安全の街になれば、多様な年齢構成が来訪する魅力あるところになると思うので茗溪通りは歩行者専用道路としてほしい（アンケート） （とちの木通り） ・とちのき通りの崖線のみどりを活かしたまちづくりを進めてほしい→見えるみどりづくりやみどりの保全メインとなる道路は「とちのき通り」並みに緑化を進めてほしい。日陰を作してほしい。付箋 2 枚分(27) （紅梅通り） ・紅梅通りに搬出入車両専用の駐車スペース設け駅前通りの路駐削減し歩行者の危険を予防して(85) （駿河台） ・駿河台は病院も多くより一層安全なまちづくりを進めるべきと考えます（神田公園地域 232） ・駿河台下交差点から見るとお茶の水駅（楽器店街）、神保町駅（本屋街）、小川町駅（スポーツ店街）の結束（節）拠点となっている。この交通・商業の流れを考えて計画してほしい（神田公園地域 233） ・駿河台地区が学生も多く近いため多くの人が利用する複合施設があるとい（神田公園地域 234） ・駿河台地区は大きなオフィスビル病院も多いので、環境性を重視した建物が増えるとい（神田公園地域 235） ・駿河台下エリアに緑を増やしてほしい（神田公園地域 236） ・駿河台は病院も多くより一層安全なまちづくりを進めるべきと考えます（神田公園地域 237） ・猿楽町と駿河台の間のがけ地は近年の大雨で倒れるかもしれないし、街路樹は道の幅を狭めているものである。（アンケート） （大学） ・大学施設の集積という特性を活かしたまちづくりを期待する（37） ・大学・キャンパスの歴史を感じさせる景観づくりを（38） （バリアフリー） ・地形による高低差がある地域なので坂のバリアフリー化等にも配慮が必要と思う（58） ・御茶ノ水・神保町は高低差がありバリアフリーの配慮があるといいです。散歩を楽しみたい（59）	中層・中高層の複合市街地として、駿河台の緑が多く文化的なたたずまいを活かしながら、住宅と教育・医療施設が調和した、 落ちつきのあるまちをつくります。 ◇ バリアフリー化のための御茶ノ水駅の全面改良を契機として、御茶ノ水橋口を起点に医療機関が集積するエリアや学生街、神保町駅周辺、水道橋駅周辺につながる安全で歩きやすいみちをつくっていきます。 ◇斜面に残る緑地や身近な緑、オープンスペースを保全・創出し、坂の多い地形を活かした緑豊かで良好な環境づくりを進めます。 ◇教育施設は地域のたたずまいに調和し、 施設の開放性や空地の連続性 を高めるよう、機能更新を図ります。 ◇ 大規模災害時に災害拠点病院や地域の医療機関が十分役割を果たせるよう、アクセス道路沿道の建築物の耐震化を進め、医療活動に活用できる空間を充実させていきます。 ◇ 大規模災害時にも自立的なエネルギーを確保し、都市機能の継続性が高まるよう、設備の導入等を進めていきます。 ◇ 大学と地域が連携して地域の魅力創造や課題解決などに対応していく協力体制をつくっていきます。
（現行 MP に記載なし）	まちの魅力再生・創造拠点 【御茶ノ水（新規）】 ○神田川の眺望を意識したゲート性（駅改修の方向性） ○神田駿河台の都心生活の質を高める拠点機能の充実 ○医療集積エリアと駅をつなぐ移動環境 ○大規模災害時の医療集積エリアにおける拠点としての備えのあり方	○明大通り、かえで通り、とちの木通りの緑、歩行空間、街並みの連続性のあり方	
◇ 斜面に残る緑地や身近な緑、オープンスペースを保全・創出し、坂の多い地形を活かした緑豊かで良好な環境づくりを進めます。			
◇教育施設は、地域のたたずまいに調和し開放性を高めるよう機能更新を図ります。	○大規模災害時の協力連携に関する記述の強化 ○大学施設等の機能更新の進捗を踏まえた空間・機能の活用の方角性		

② 神田猿楽町一・二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、 錦華・猿楽通りの生活感の感じられる落ち着いた街並み を活かしながら、 住宅と商業・業務・教育施設等が調和したまち をつくります。	○お茶の水小学校・錦華公園の一体的整備を踏まえた方向性を追記 ○学校施設が連続する猿楽通りの魅力向上のあり方	(猿楽町) ・中高層に限定しない方がより多くの都市機能再編が可能になると思うのですが、いかがでしょうか（30） ・中高層に限定せず調和に配慮しつつ適切な都市機能の再編を誘導されてはどうでしょうか（土地の価格がとても高いので）（意見に対する賛成 1 件）（35） ・区の自転車置き場が猿楽町にある意味がわからない。もっと有効につかうか、売却して有意義に使って欲しい（54 再掲） ・明大通りの西側（猿楽町エリア）は将来のまちづくりを考えるべき地区の将来像が不明瞭(89) (崖地) ・皇居に緑は多くあるので崖地の緑は不要。危ないのでコンクリートで保存してほしい。緑化はコスト高なので不要（21） ・猿楽町の崖線のみどりの保全を考えてください（24） ・崖の緑の保全とあわせて安全対策への補助をお願いします（25） ・とちのき通りの崖線のみどりを活かしたまちづくりを進めてほしい→見えるみどりづくりやみどりの保全メインとなる道路は「とちのき通り」並みに緑化を進めてほしい。日陰を作してほしい。付箋 2 枚分（27） ・崖地が危険である。線はそんなに必要ない。人命安全が第一である。(60) ・猿楽町エリアの老朽化建物対策高低差解消、崖線の緑資源の保全などを位置付けていただきたいです。(61) ・崖地が土砂災害のレッドゾーンに指定されているので対策が必要(71) ・猿楽町と駿河台の間のがけ地は近年の大雨で倒れるかもしれないし、街路樹は道の幅を狭めているものである。(アンケート/再掲)	中高層の複合市街地として、 錦華通り・猿楽通りの生活感の感じられる落ち着いた街並み を活かしながら、 住宅と商業・業務・教育施設等が調和したまち をつくります。 ◇土砂災害対策を講じながら、連続する崖線の緑を保全していきます。 ◇高低差を克服しながら、坂や階段の多い地形を楽しめるようにしていきます。 ◇崖線の緑と連続する錦華公園を、まちの大人が憩い、子どもが安心して遊べる居心地のよい空間として活かしていきます。 ◇猿楽通り沿道では、教育施設等と調和した落ち着いた街並みを維持し、崖線の緑と連続するような敷地の緑化などを通じて、まちのうるおいを維持・創出していきます。
(現行 MP に記載なし)			

③ 神田三崎町一・二・三丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、隣接する飯田橋の再開発や後樂園との連携を進め、水道橋駅周辺の商業施設、出版等の業務施設と住宅が調和した、活気とにぎわいのあるまちをつくります。	○飯田橋の事業進捗を踏まえた回遊性向上等 ○後樂園や出版等の業務施設の変化を踏まえた文化的環境育成のあり方	・三崎稲荷神社について、近所の歴史ある神社なので当事者はもちろんのこと町ぐるみでもっとアピールして欲しい(3) ・中高層に限定しない方がより多くの都市機能再編が可能になると思うのですが、いかがでしょうか（30 再掲） ・中高層に限定せず調和に配慮しつつ適切な都市機能の再編を誘導されてはどうでしょうか（土地の価格がとても高いので）（意見に対する賛成 1 件）（35 再掲） ・地域の歴史に因んだイベントをもっと実施して欲しい。（定期的な講座など）江戸時代 講武所 明治時代 武家屋敷跡の活用（牧場・茶畑など）三崎三座（70）	中高層の複合市街地として、隣接する飯田橋駅周辺の拠点や後樂園との連携を進め、水道橋駅周辺の商業施設、出版等の業務施設と住宅・教育施設が調和した、活気と賑わい、新たな文化を感じるまちをつくりま す。
◇日本橋川に新たな橋を整備するなど、飯田橋再開発地区との連携を図ります。	（完成済み） ○飯田橋、後樂園（文京区）との回遊性向上のあり方 ○都市型水害対策の方向性		◇三崎稲荷神社やかつて東京の演劇の中心としてにぎわった三崎三座などの歴史・文化を大事にしながら、建物の建替えやリノベーション等を通じて、多様なひとがクリエイティブに活動していくオープンスペース等を充実させていきます。 ◇飯田橋と連携し、日本橋川両岸の水辺空間とともに、後樂園への回遊性を高める歩行環境を充実させていきます。 ◇集中豪雨に伴う都市型水害による被害を軽減するための対策を進めます。

④ 西神田一・二・三丁目、神田神保町一（一部）・二（一部）・三丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、高齢者センター・複合施設など、コミュニティ関連施設の集積を活かし、住宅と出版等の業務・商業施設、大学等の教育施設が調和した、災害に強いまちをつくります。	○高齢者センター・複合施設の廃止とかがやきプラザ（九段南）のオープンを踏まえた地域のあり方 ○出版等の事業所集積の状況の確認	・中高層に限定しない方がより多くの都市機能再編が可能になると思うのですが、いかがでしょうか（30 再掲） ・中高層に限定せず調和に配慮しつつ適切な都市機能の再編を誘導されてはどうでしょうか（土地の価格がとても高いので）（意見に対する賛成 1 件）（35 再掲）	中高層の複合市街地として、区立西神田公園や区民館など、コミュニティ関連施設の集積を活かし、住宅と出版等の業務・商業施設、大学等の教育施設が調和した、災害に強いまちをつくります。
◇学生街のにぎわいと地域の活力を活かした、文化性豊かなまちづくりを進めます。	○大学等との連携や西神田公園、西神田百樹の広場、神保町愛全公園などを活かしたコミュニティ形成、文化創造、防災性向上		◇学生街の賑わいと地域の活力、カトリック神田教会などを活かして界隈の魅力を高め、文化性豊かなまちづくりを進めます。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。	○都市型水害対策の方向性		◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。 ◇集中豪雨に伴う都市型水害による被害を軽減するための対策を進めます。

⑤ 神田神保町二（一部）・三丁目（一部）、一ツ橋二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地 として、印刷・製本・出版業から新たな情報・文化産業への転換を図り、これらの商業・業務施設とさくら通り沿道に集積した個性ある飲食店、 教育施設と住宅が調和した、若者も引きつける活気あるまち をつくります。	○飲食だけでなく、次世代の文化創造・交流、ライフスタイル・ワークスタイルに訴求力のある魅力創造のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認	・中高層に限定しない方がより多くの都市機能再編が可能になると思うのですが、いかがでしょうか（30 再掲） ・中高層に限定せず調和に配慮しつつ適切な都市機能の再編を誘導されてはどうでしょうか（土地の価格がとても高いので）（意見に対する賛成 1 件）（35 再掲） ・古書店街の魅力を向上させるため、若返り（リニューアル若い人に新しいことをやらせよう）を図る施策に対応してほしい。学生と古書店街はつながりあっていない（古書店街の客は 50 代以上の男ばかり）後継者がいままなくなってしまうのを防ぎたい（43） ・ビルの老朽化が顕著にみられるが、今の街並みを残した形での共同ビルの建て替えの方法を希望します（44） ・共同建て替えの時駐車場付置が障害になる（45） ・古書店街などエリアを絞って駐車場付置義務の緩和を進めてほしい（51） ・ウォーカブルで人の活動が見えるグランドレベルが神保町の魅力だと思います（57） ・神田神保町で唯一お客さんと呼べる古書店街が高層ビルになったらソポを向いて街は死ぬ（⑭） ・さくら通りのスクラッチタイル 90 年ビルは学士会館や九段会館日比谷市政会館とも同じ保存して区もお金を出してください（⑳） ・さくら通りの元銀行非常に貴重なので地域の資源として残してほしい（㉑） ・竹橋駅に半蔵門線の新駅を設置する訳には行かないでしょうか？ ついでに大手町駅や竹橋駅から日本橋をぐり地下に通路を作れば、神田の南側も少しは人が増えるのでは（神田公園地域㉒） ・神保町辺りは住環境というよりも古書店、大学等の文化、商業を優先させた開発をしてよい。（アンケート） ・竹橋駅に半蔵門線の新駅を設置する訳には行かないでしょうか？ ついでに大手町駅や竹橋駅から日本橋をぐり地下に通路を作れば、神田の南側も少しは人が増えるのでは。（神田公園地域意見㉒）	中高層の複合市街地として、 古書店街と出版・教育・文化情報機能が連携して、新しい居住や都心生活のスタイルを生み出し、多様な世代を引きつけ、多様な魅力が生まれるまち をつくります。 ◇さくら通り沿道の个性的な飲食店の集積とともに、 多様なスキルをもつひとがフレキシブルに利用できるワークスペース等の充実、歩行空間の整備を進め、都心生活を豊かに過ごせる場所を九段下駅周辺へと連続させていきます。 ◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建替えや道路空間の創出を進めます。建物の建替えは、通りの賑わいや個性ある雰囲気や途切れさせることのないよう、全体の街並みと低層部の店先の空間、歩行空間等のあり方などを含めて検討していきます。 ◇集中豪雨に伴う都市型水害による被害を軽減するための対策を進めます。
◇ さくら通り沿道の个性的な飲食店などの集積 をさらに進め、 九段下へと連続 させるとともに、 快適な歩行空間整備 により、 周辺を含めたネットワークづくり を進めます。	○若者の都心生活を豊かにする店舗や文化創造につながる都心機能、交流など、通りの連続的な魅力向上のあり方		

⑥ 神田神保町一丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、印刷・製本・出版業や書店街を活かした再開発を進め、個性的なまちの顔をつくるとともに、すずらん通りの飲食店や商業・業務施設と住宅の調和を図ります。	○古書店街の回遊性や店舗をめぐる楽しみ方、回遊性を大切に引き継ぐ機能更新のあり方 ○古書店街の価値を活かして次世代の文化創造・交流、ライフスタイル・ワークスタイルに訴求力のある魅力創造のあり方	・中高層に限定しない方がより多くの都市機能再編が可能になると思うのですが、いかがでしょうか（30 再掲） ・中高層に限定せず調和に配慮しつつ適切な都市機能の再編を誘導されてはどうでしょうか（土地の価格がとて高いので）（意見に対する賛成 1 件）（35 再掲） ・古書店街の魅力を向上させるため、若返り（リニューアル若い人に新しいことをやってもらう）を図る施策に対応してほしい。学生と古書店街はつながりあっていない（古書店街の客は 50 代以上の男ばかり）後継者がいままなくなってしまうのを防ぎたい（43 再掲） ・ビルの老朽化が顕著にみられるが、今の街並みを残した形での共同ビルの建て替えの方法を希望します（44 再掲） ・共同建て替えの時駐車場付置が障害になる（45 再掲） ・古書店街などエリアを絞って駐車場付置義務の緩和を進めてほしい（51 再掲） ・ウォーカブルで人の活動が見えるグランドレベルが神保町の魅力だと思います（57 再掲） ・神田神保町で唯一お客さんを呼べる古書店街が高層ビルになったらソポを向いて街は死ぬ（⑭再掲） ・神保町辺りは住環境というよりも古書店、大学等の文化、商業を優先させた開発をしてよい。（アンケートノ再掲） ・電線・電柱地中化。バリアフリー化を推進してほしい。地区は異なるが神保町駅を改善促進してほしい。（神田公園地域意見 138）	中高層の複合市街地として、古書店街の店舗の連続性や、店先と道路等のパブリックな空間との関係性を大切にした機能更新を進めます。
◇すずらん通り沿道では、散策や買い物の楽しめる、連続する魅力ある商業施設の整備を進めます。	○若者の都心生活を豊かにする店舗や文化創造につながる都心機能、交流など、通りの連続的な魅力向上のあり方 ○連続する書店の店舗と通りにおけるパブリックスペースの創出と活用のあり方		◇すずらん通り沿道では、散策や買い物、グルメなど、道路と一体となって連続的な回遊の楽しさを生み出す商業施設の整備を進めます。古書店が集積するエリアにおける建物の建替えは、賑わいや個性ある通りの雰囲気や途切れさせることのないよう、全体の街並みと低層部の店先の空間、歩行空間等のあり方などを含めて検討していきます。 ◇通り沿いや味わいある路地裏の喫茶店、劇場施設など、古書店街の魅力と一体となった文化を感じられる居場所とともに、建物の建替えやリノベーション等を通じて、多様なひとがクリエイティブに活動していくオープンスペース等を充実させていきます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（日本橋川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
日本橋川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。	○都市型水害への対応力のあり方 ○街路樹のあり方		日本橋川沿いの水辺空間の創出や、飯田橋駅周辺・九段下駅周辺の拠点や川沿いの建物の更新等と連携した街並み形成、快適な歩行空間づくり等により親水性を高め、連続的な水辺の魅力づくりを進めます。
◇再開発などの際に護岸の親水化、川沿いの緑化等を進めます。 川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。 水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。	○日本橋川の舟運、防災船着き場の活用等 ○現状の高速道路地下化の方向性（神田橋から日本橋方面）を踏まえた記述のあり方 ○景観まちづくり計画との整合性確保 ○護岸形態についての記述は継続できるかを確認		◇川沿いの建物や構造物の形態について、まち側から日本橋川を見通せる空間の配置や建物低層部のデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇日本橋川の水質改善とともに、川沿いの連続的な緑化、歩行空間・ポケットパークの整備などにより、水辺を歩いて楽しめる環境をつくります。 ◇水辺に親しみながら心地よい時間を過ごせるような、両岸一体となった水辺空間の活用と連携を進めていきます。 ◇改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。

b 環境創造軸（神田川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
神田川沿いの自然を活かし、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努め、美しい街並み、快適な歩行空間をつくります。	○駅舎の整備と一体となった眺望、環境創造（御茶ノ水駅） 水道橋駅は確認 ○街路樹のあり方	・他区との調整は？ EX 白山通り、緑と水のネットワーク（文京区）が水道橋駅区境でとぎれていきます（67） ・神田川の崖線のみどりと水を区民に開放できるよう、進めるべき。（86）	神田川沿いの緑と水辺のつながりを活かし、御茶ノ水駅、水道橋駅周辺のまち、後樂園との一体性を持った空間を充実させ、美しい街並み、快適な歩行空間をつくります。
◇水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。	○景観まちづくり計画との整合性確保 ○護岸形態についての記述は継続できるかを確認		◇川沿いの建物や構造物についてデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 ◇川沿いに歩行空間やポケットパークなどの眺望と憩いの場の整備を進めます。

C 都市機能連携軸（白山通り、靖国通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
表通り にふさわしい 整えられた街並みの形成 を進め、総合的な 自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善 するとともに、 快適な歩行空間 をつくります。	（基本的に方針を継承）	・長い間施工されない都市計画道路の建築制限は理不尽（33） ・白山通りのイチョウ並木は伐採される聞きましたが、現在どのような状況でしょうか？ぜひ残してほしいです（印象的な景観なので）落葉の処理など問題ありますが・・・（87） ・白山通りの都市計画道路の整備についても車が減っているのに拡幅するのはおかしい（88）	都心の骨格となる軸 にふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。
◇ 白山通り は、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、 回遊性と滞留性 をもたせた 快適な歩行空間 をつくりま す。さらに、緑の骨格として、 沿道も含め重点的な緑化 を進めます。	○都市計画道路の事業化、電線類の地中化を踏まえた方向性 ○神保町と水道橋をつなぐ都市機能連携軸としての沿道土地利用のあり方		◇白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。 さらに、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。
◇ 靖国通り沿道 は、 神保町の顔としての書店街にふさわしい景観づくり を進め、一層の活気とにぎわいを創出するよう、 回遊性と滞留性 をもたせた 快適な歩行空間 をつくります。また、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。	○古書店街の回遊の魅力をさらに高める店舗とオープンスペース、通り（道路空間などの公共空間）の活かし方 ○沿道の緑化の可能性、必要性の確認		◇靖国通り沿道は、神保町 地域 の顔としての 古書店街 にふさわしい景観づくりを進め、一層の活気と賑わいを創出するよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。 また、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。

d エリア回遊軸（千代田通り、明大通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
（現行M Pに記載なし）			近接する拠点や駅、個性ある界隈をつなぎ、日常の移動経路として利用されるだけでなく、統一感のある街並みを基盤とし、沿道における休憩スペースやコミュニティサイクルのポートをはじめ、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。
（現行M Pに記載なし） 千代田通り			◇千代田通り・明大通りは、大手町から古書店街、学生街、御茶ノ水駅へと続く南北の軸として、沿道の大学等のゆとりある空地や歩道状空地、オープンな建物低層部のスペース、カフェ等の連続性を活かして、多くのひとにとって快適で楽しく歩ける移動環境を創出します。

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 神田鍛冶町三丁目、神田多町二丁目、神田司町二丁目、神田美土代町

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
神田公園を中心に、 中層、中高層の複合市街地 として、 住宅と商業・業務施設が調和した、災害に強いまち をつくります。	○味わいある街並みを感じる通りやエリアリノベーションのあり方 ○クリエイティブな都心生活、活動、文化、新しい働き方、生業が育まれる創造的な“場（空間・機能）”のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認	・警察通りから神田川までのエリアは居住者も減っているし、にぎわいもない。居住促進とにぎわいの創出をしてほしい。（168） ・内神田・美土代町周辺について住宅用途による容積率の緩和について住宅用途に限らず緩和対象としてもいいのでは？10F 建以上の細いマンションが増えそのわりに生活機能の整備が追いついていない？（神保町地域 32）	神田 児童公園 を中心に、 下町の風情を感じる中層・中高層の複合市街地 として、 住宅と商業・業務施設が調和した、災害に強いまち をつくります。
◇ 防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出 を進めます。	○エリアのリノベーションと防災性向上のあり方		◇ 防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出 を進めます。
◇ 神田公園の周辺 においては、 公園を活かした住環境 を形成し、 中層の建物 を誘導します。	○公園やコミュニティ施設を活かした下町らしい豊かな生活環境のあり方		◇ 神田児童公園及び周辺は、神田警察通り沿道の賑わいづくりと連動して緑の拠点 としていきます。公園周囲の建物は、公園区域と良好な関係となるような配棟・形態とし、公園やコミュニティ施設を活かした、安全でふれあいのある住環境を形成します。
（⑦より移動） ◇ 外堀通り は、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。	○沿道の緑化の可能性、必要性の確認		◇ 神田警察通り沿道では路上に賑わいがにじみ出る空間を形成し、神田駅周辺や神田錦町への賑わいの連続性を強めていきます。また、外堀通りとの交差部分周辺においては、機能更新に合わせて、まちの境界部を表現する空間の形成を進めます。 ◇ 外堀通りは、神田警察通りのまちづくりと連携して、日本橋川と靖国通り、神田川をつなぐ幹線道路として、緑と歩道、沿道敷地のオープンスペース等の一体性が高く、歩きやすいみちづくりを進めます。

② 内神田一・二・三丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、にぎやかな商業施設や業務施設と住宅が調和した、活気のあるまちをつくります。	○神田駅周辺の複合市街地のあり方（中高層のイメージを継承すべき） ○クリエイティブな都心生活、活動、文化、新しい働き方、生業が育まれる創造的な“場（空間・機能）”のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認	（内神田） ・大手町との行き来がしやすくなる橋があるとよい。（26） ・橋がかかり便利になったので大手町からの人がもっと来てくれるようなイベントや取り組みがあると良い。（27） ・日本橋川上部の首都高の改良がおこなわれると思うので、神田と大手町の連携強化を図ってほしい。竜閑さくら橋の活用。（31） ・内神田から神田錦町にかけては中層ビルが並んでいて緑を感じられない（67） ・竜閑さくら橋の西にある土地が庭園等の子供が遊べるような場所になればよい（周辺に保育園等が多いが園庭が少ない）（169） ・内神田ににぎわいを集める広場が必要と思う。今は通貨の人が多い。（170） ・竜閑さくら橋～神田駅へ至る歩行空間、楽しく歩けるような景観づくりができれば良いと思う。（171） ・内神田として大手町、日本橋、八重洲地域に連続できる街づくりをしたいです。（172） ・内神田・美土代町周辺について住宅用途による容積率の緩和について住宅用途に限らず緩和対象としてもいいのでは？10F 建以上の細いマンションが増えそのわりに生活機能の整備が追い付いていない？（神保町地域 32 再掲） （神田駅周辺） ・たくさんの商業がある特性を活かし、神田駅前にオープンスペース（人のたまりとなる空間）をつくり、そこを拠点に店舗に回遊でき、歩いて楽しいまちにしていきたい。（63） ・多町大通りの「（中高層階）住居専用地区」というのは意外。というか、賑わいを生み出したい神田を活性化させることにつながっていないのでは。（119） ・神田駅周辺に広場（みどり）の空間が欲しい。（173） ・神田駅西口に緑のオープンスペースを創出していただきたい。都心で不足しているもの。気持ち良い丘の広場。（町が眺められる）（174） ・神田駅前に広場空間がないのであったらよい。日本橋のほうにはない神田ならではの個性的なものが必要。みどりが少ない。（175） ・神田駅から東方向に行くほど事務所が多いようです。神田スクエアやトラッドスクエアのように複合ビルと広場による通りの流れをつくってまちあるきを楽しめるようにしてはどうでしょうか。（176） ・神田駅に着いたときいつも少し迷う。神田の玄関口としてわかりやすい空間づくりが必要では。（177） ・先日テレビ東京で奥多摩町の特集をしていました。その時公衆トイレがたいへんきれいに管理されていました。神田駅の下のトイレはきれいになりましたが入り口のあたりはひどくよごれたままです。後のメンテナンスもしっかりやっていただきたい。奥多摩町は街が清掃する人を雇ってやっているみたいです。（14） ・神田駅のラッシュ時混雑がコロナの今も危ない。歩行者も自転車も安全に。（15） （日本橋川周辺） ・首都高の計画に乗って日本橋～神田の川沿いの再開発においてランドマークたるものを作っていくことが大事だと思う。（アンケート）	神田駅を中心に江戸以来のまちの文脈を大事にしながら、中高層の複合市街地として、低層部では連続する店舗や多様なひとが柔軟なスタイルで働く場、住まい、交流の場が広がる、多様性と創造性、活気にあふれたまちをつくります。 ◇神田駅周辺では、大手町・秋葉原・日本橋・八重洲エリアをつなぐ回遊の起点となる機能とともに、環境性能、防災性の高い拠点機能を充実させていきます。 ◇神田駅は、周辺街区と連携・協調し、神田らしいまちの顔となる駅前空間・滞留空間の創出や、より安全に利用できる地上・地下の移動ルートの整備・改善を進めていきます。 ◇下町らしさの残る雰囲気のある路地空間を活かしながら、建物の建替えやリノベーション等を通じて柔軟に利用できるオープンスペース等を創出することで、クリエイティブなひとが集まり、周辺地域で働くひとや企業が連携する活動を展開していきます。 ◇神田駅西口通り、多町大通り、出世不動通り沿道では、低層部に店舗や飲食店、サードプレイス等が連続し、都心生活を豊かにする活気あるまちづくりを進めます。 ◇佐竹稲荷、出世不動尊などが息づく風景をまちの資源、景観要素として守り、活かしながら、住宅、商業・業務施設が調和したまちづくりを進めます。
◇神田駅は、地域の顔にふさわしいシンボル性のある駅舎への改築や、より安全に利用できる駅としての整備・改善を要請していきます。	○神田駅の課題解決の方向性 まちの魅力再生・創造拠点 【神田駅周辺】 ○江戸下町の回遊のゲート性（駅改修の方向性） ○大手町・秋葉原・日本橋をつなぐ拠点機能 ○下町の風情やまちの文脈をつなぐ拠点形成のデザインのあり方 ○下町の防災性を高める空間と機能のあり方		
◇神田西口通り、多町大通り、出世不動通り沿道では、低層部に生活に必要な店舗や飲食店を誘導し、憩いや集いの広場も備えた活気あるまちづくりを進めます。	○都心（下町）生活の豊かさをイメージした通りのデザイン、イメージ創造のためのまちづくりのあり方 ○集合住宅の立地動向を踏まえた賑わいの連続性の再生のあり方（地区計画の見直しの方向性等）		
◇佐竹稲荷、出世不動尊などのまちなかの魅力資源を守り、活かしながら、中高層部に住宅を誘導し、商業・業務施設と調和したまちづくりを進めます。	○味わいある界隈性の再生・創出のためのまちづくりのルールのあるあり方		
（⑦より移動） ◇外掘通りは、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。	○沿道の緑化の可能性、必要性の確認		◇神田警察通り沿道では通りに賑わいがにじみ出る空間を形成し、神田駅周辺や神田錦町への賑わいの連続性を強めていきます。また、外掘通りとの交差部分周辺においては、機能更新に合わせて、まちの境界部を表現する空間の形成を進めます。 ◇外掘通りは、神田警察通りのまちづくりと連携して、日本橋川と靖国通り、神田川をつなぐ幹線道路として、緑と歩道、沿道敷地のオープンスペース等の一体性が高く、歩きやすいみちづくりを進めます。

③ 神田小川町一・二・三丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点） （基本的に方針を継承）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、スポーツ用品店街と連携した商業・業務施設・住宅が調和した、活気とにぎわいのあるまちをつくりま す。	○地区計画の目標・方針の確認	（小川町 3-10） ・築 40 年～50 年を超える建物が密集し二項道路もある街区を整理し大きく使うことが必要（小川町 3～10 地区）（178） ・小川町 3-10 は 2 面で緊急輸送道路に面しているので早急な開発が必要。（179） ・小川町 3-10 地区この街に住み続けたいのに個別では建替えができない。再開発を早く進めてほしい。（180） ・小川町 3-10 の再開発を早急に進めてほしい。（181） ・地権者主導で再開発をやろうとしているが、全然話が進まない。区の補助、協力をもっと進めてほしい。（小川町三丁目 10 番地）（182） ・ここで家庭をもったがビル建替えて住めなくなった。今、再開発を計画中だが、中々進捗しない。早く強い区の後押しが欲しい。終の棲家を千代田区にしたい。（小川町三丁目 10 番地）（183） ・老朽化建物が多くその多くが個別建替えが困難な状況にある。（小川町三丁目 10 番地）（184） ・小川町 3-10 番地は特に耐震化が遅れている。また個人の小さな建物が多いので建替えもできない。（185） ・小川広場は避難場所にもなるので、そのまま残してほしい。（186） ・小川町の三角地帯の構想はやめてほしい。原宿～表参道のように低居魅力的な建物にしてほしい。（187）	スポーツ用品店の集積を活かしながら、中高層の複合市街地として、商業・業務施設・住宅が調和した、活気と賑わい、ふれあいのあるまちをつくりま す。
◇スポーツ用品店街等の集積を活かし、後背地の商業・業務施設との連携を進めることで、一層の活気とにぎわいを創出します。隣接エリアの御茶ノ水駅を含めた歩行者の回遊ルートの整備、憩いや集いの場の充実などにより、買い物だけでなく、歩くことも楽しめるまちにしていきます。	○スポーツ用品店の集積を活かし、神田駿河台の教育・医療施設の集積、古書店街等と連携したスポーツとふれあいなど、新たなエリアの魅力と文化醸成のあり方	（小川町） ・スポーツ店街は危機にあると思います。同業店が集積するという魅力は失われると元に戻りません。守るべきものと感じます。（12） ・学校、病院、スポーツ、本、楽器店の集積している地域、大いにその環境を利用すべきと思う。（15） ・音楽イベントができる広場を音楽の街として小川町に設けると良いと思う。（186）	◇スポーツ用品店街等の界限性と様々なひとの力を活かし、後背地の商業・業務エリアや神田駿河台の医療機関が集積するエリアと学生街、神保町地域の古書店街との連携を進めることで、多様な文化を創造するまちづくりを進めます。
◇小川小学校跡地をコミュニティの核や地域に根ざした文化を学び育てる場としていきます。	○小川広場の今後の活用のあり方	（駿河台下） ・小川町交差点や駿河台下交差点などを地域のランドマークとして整備すべきと思います。（187） ・駿河台下近辺は小さなビルが多く個別での建て替えがままならない。空間を利用した開発（188） ・駿河台下地区は医療・商業・音楽・教育のハブでありコアである地域。しっかりした開発が必要。（189） ・駿河台下のまちづくりも支援してほしい。（190） ・駿河台下近辺は緑がないので広場をつくり緑を確保してほしい（191） ・警察通りから神田川までのエリアは居住者も減っているし、にぎわいもない。居住促進とにぎわいの創出をしてほしい。（168 再掲）	◇小川町駅や神保町駅、御茶ノ水駅などをつなぎ、回遊を楽しめるよう、憩いや集いの場、歩行空間を充実させていきます。
◇本郷通り(一八通りとの交差点以北)は、街並みを整えながら、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくりま す。	○本郷通りと靖国通りが交わる神田駿河台下周辺のまちづくりのあり方		◇現在の小川広場は、多様なひととコミュニティの力を醸成し、界限性を活かす場としていきます。
			◇本郷通り(一八通りとの交差点以北)は、街並みを整えながら、既存の商店街を活かした街並み形成を図り、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくりま す。

④ 神田錦町一・二・三丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、中高層に住宅を誘導し、商業・業務施設や教育施設と調和した、落ちつきあるまちをつくりま す。	○住宅誘導、都心生活の豊かさを支える機能誘導の考え方の整理 ○地区計画の目標・方針の確認	（開発） ・新しい生活様式に対応した住みたくなる・働きたくなるようなランドマークを錦町で大規模再開発で発信してほしい。（5） ・神田錦町は昼も夜も人が少ないので、まだまだ住宅整備等が必要だと思っています。（98） ・コロナの影響下において錦町は寂しく感じました。にぎわいのあるまちとしてもらいたい。（117） ・錦町はワテラスのような大きく環境を変えるような拠点性の再開発でないと活性化しない。ペンシルマンションが建て替わる状況は環境良くなりません。（133） ・神田錦町周辺の街づくりを積極的に進めてほしい。住民労働者共々疲弊してきている先に進まず。（192） ・錦町三丁目南部地区の計画を早く進めてほしい。地域活性化につなげたい。（193） ・周辺のまちと比べてこのあたりは活気に欠けるのでぜひ錦町三丁目南部地区地区計画を前倒しで進めてほしい。（194） ・錦町につとめているがにぎわいがなく寂しい。開発等が進みあこがれられるようなまちにしてほしい。（195） ・錦町周辺の大街区化を促すような開発を望みます。大街区化→道路から広場へにぎわいの創出をお願いします。（196） ・錦町内にもうす暗い細かい道が多く町のイメージも暗くなりがち。（197）	中高層の複合市街地として、住宅と商業・業務施設や教育施設と調和し、落ちつきある環境のなかでも、活発な交流とコミュニティを育むまちをつくりま す。
◇白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくりま す。さらに、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。	○都市計画道路の事業化、電線類の地中化を踏まえた方向性 ○神保町と竹橋をつなぐ都市機能連携軸としての沿道土地利用のあり方（神保町地域⑨）		⑦都市機能連携軸として記載

		・神田エリアはワテラス以降再開発が進んでいない印象。町の町会コミュニティが衰退する前に錦町エリアの開発を進めてほしい。(198) ・神保町と大手町にはさまる錦町を再開発することで二つの街もよくなる。錦橋と神田橋の間の橋を復活させ人の流れをつくってほしい。(199) ・錦町周辺は警察通りの西口として重要。大きな街区が必要。(200) ・神田錦町の様々な開発や広場をつなぐ拠点性のある大開発があれば良いと思います。(201) ・警察通りのにぎわいや広場等の連携を強めるために錦町南部東地区の開発を推進してほしい。(202) ・錦町地区の安田不動産の再開発を進めろ。(203) ・錦町には拠点施設をつくらないと来街者が増えない。住民だけでは解決できない。区の支援求む。(204) ・錦町 1～3 丁目地区の開発計画を活性化し働く人来街者を増やしてほしい。(205) ・神田と神保町大手町とお茶の水の間に人々が行き来したくなるような拠点的なまちづくりが警察通りの沿道特に錦町に必要なと思います。(206) ・歩行の道が多く交通量は多くないが、歩行者危険。大街区化し広い歩道やくつろげるスペースを錦町にもっと増やしてほしい。(207) ・新しい生活様式に対応した住みたく・働きたくなるようなランドマークを錦町で大規模再開発で発信してほしい。(5 再掲) ・神田錦町は昼も夜も人が少ないので、まだまだ住宅整備等が必要だと思います。(98 再掲) ・電大跡の開発を契機に御茶ノ水仲通りから大手町方面に南下する導線をマスタープランでもしっかり位置づけすべき(神保町地域 66) ・首都高の計画に乗って日本橋～神田の川沿いの再開発においてランドマークたるものを作っていくことが大事だと思う。(アンケート／再掲) ・神田錦町地区は大手町とくらべても魅力にかける町となっています。住んでみたくなる街、仕事に利便性があり、コロナ後をみすえて働き続けられる町を作っていただきたいと思います。そのためには広い空間や緑のある広場や生活に必要なものがそろっている(商店、レストランや医療施設等)と良いと思いますが、実現するためには規制を緩和し大規模再開発を計画し進めることが必要と考えます。(アンケート) ・開発が完了している案件(テラススクエア、神田スクエアなど)を活かし新たな位置づけをしっかりとしたマスタープランを作してほしい。(神保町地域アンケート)	◇神田警察通り沿道のうち、千代田通りと白山通りの間では、落ち着いた風情ある景観を形成し、穏やかな賑わいが感じられるよう、エネルギー消費の少ない建築・開発や多くのひとが憩えるオープンスペースなどの創出を通じて、都心生活の質を高める環境をつくっていきます。 ◇神田警察通り沿道のうち、本郷通りと千代田通りの間では、神田駿河台や靖国通り沿道の賑わいと連携し、まちに開かれた文化交流機能を商業・業務施設等に導入することで、平日も休日にも多様なひとを惹きつける魅力を創出していきます。
◇街路樹や公園空地等により、身近な緑が連続する市街地の形成を進めます。	○街路樹の維持管理等の考え方の反映	(特色) ・日本橋川をはさんだけなのに、なぜ錦町と大手町では法律で高さ制限とかが違うのでしょうか？(158) ・錦町を特色のあるまちとして下さい。(208) ・警察通りから神田川までのエリアは居住者も減っているし、にぎわいもない。居住促進とにぎわいの創出をしてほしい。(168 再掲) ・神田錦町は大手町や皇居が近く、非常にポテンシャルを持っている地域だと思う。もっと発展させてほしい。にぎわいが必要。(209) ・神田錦町をより良い街にしていきたいです。文化的教育的にも歴史ある地域です。発展させてください。(アンケート) ・錦町をはじめ神田全体が働きやすい住みやすいまちになってほしい。(アンケート) ・錦町周辺は日本橋川を境に孤立している印象です。(アンケート) (コミュニティ) ・錦町では単身マンションばかりで人が増えている実感がない。地域と関わる人口を増やしてほしい(79) ・神田錦町は住む、働くが共存するエリアとして大手町と差別化すべき。そのためにはエリアマネジメント等のコミュニティが必要だと思います。(210) ・錦町では単身マンションばかりで人が増えている実感がない。地域と関わる人口を増やしてほしい(79 再掲) ・神田錦町は住民が街にいるイメージがない。もっと子供とお年寄りが街にいてほしい。街での活動が見えるようにしてほしい。 (空地・緑) ・錦町ー大手町の人の流れがないと思う。ランドマーク等の必要性も考えていくべきである。(2) ・大手町と神田錦町側もうまくつながりや回遊がほしい。日本橋川の緑道がさびしい。(30) ・神田錦町エリアに大きな広場がないのでイベント等ができる広場空間を作してほしい。(212) ・公園や人とのソーシャルディスタンスが取れる場所が神田錦町に少ない(213) ・休日に人が集まれる、くつろげるような場所が錦町周辺には少ないと思います。(人を呼び込むのも必要だが)(214) ・もう少し緑や広場的な空間があっていいと思う。(錦町周辺)(215) ・神田錦町に大きな公園や広場があれば良いと思います。(216) ・神田橋から竹橋は暗いイメージ。緑等で神田錦町側も魅力的な空間にしてほしい。(217) ・大手町の地下道が竹橋駅ギリギリでつながっていないのが本当にもったいなく思う。錦町の活性化にもとても有意義だと思います。(19) ・大手町の人の流れを錦町近辺に誘導するような方策をお考えいただきたい(20)	◇街路樹や道路と一体性のある空地・緑が連続し、多様な空間の活用でまちの文化交流が広がるまちづくりを進めます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（日本橋川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
日本橋川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。	○大手町と一体となり、相互の回遊性を高める水辺空間のあり方 ○街路樹のあり方	（環境創造軸） ・せっかくきれいな緑道があるのに使われていないイメージ。もったいない。（神田橋～竹橋）（218） ・神田橋と錦橋の間が長い。また。大手町川端緑道は大手町側だけなので、神田錦町側も緑豊かな遊歩道にしてほしい（219）	日本橋川の親水性を 高め、大手町と連携した水辺の一体的な魅力づくりや街並み形成、快適な歩行空間づくりを進めます。
◇再開発などの際に 護岸の親水化、川沿いの緑化等 を進めます。 川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導 していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備 を進めます。 水質の向上 を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。	○日本橋川の舟運、防災船着き場の活用等 ○現状の高速道路地下化の方向性（神田橋から日本橋方面）を踏まえた記述のあり方 ○景観まちづくり計画との整合性確保 ○護岸形態についての記述は継続できるかを確認	（開発） ・日本橋川上部の首都高の改良がおこなわれると思うので、神田と大手町の連携強化を図ってほしい。竜閑さくら橋の活用。（31 再掲） ・今の雰囲気を保ちつつも、大手町やお茶の水方面の活気をうまくとりいれられるようにしてほしい。日本橋川をうまく活かしてほしい。（32） ・日本橋川の周りの道路や警察通りなど特長ない大きな一方通行の道路が街を分断している。せめてその間を大きな街区に。（33） ・日本橋では川沿いのまちづくりが積極的に進められている。神田地域も川沿いのまちづくり人の流れを作してほしい（34） ・日本橋川沿いは川に向けて壁になっているので、もっと親水空間を作してほしい。大手町と神田をつなぐ橋など（35） ・日本橋川沿いが暗く治安が悪い印象。親和性が感じられるまちと一体となった魅力的な空間づくりをしてほしい。→人通りを増やした方がよい（橋を増やすなど）（36） ・歴史ある日本橋川が高速道路に圧倒され街づくりに寄与していない。全面的に明るい空間にしてほしい。（37） ・日本橋川を生かした親水空間ができると良い。大手町に近いのに人が流れてこない。気象庁とかのあたり。（38） （活気） ・錦町周辺の日本橋川沿いのにぎわい活用化。（39） （緑） ・日本橋川の活用は重要首都高は蓋をされているが緑豊かな地域資源として日本橋川を整備してほしい。（40） ・大手町と神田錦町川もうまくつながりや回遊がほしい。日本橋川の緑道がさびしい。（30 再掲）	◇神田のまちから日本橋川を見通せる空間の配置や建物低層部のデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇日本橋川の水質改善や川沿いの緑化、歩行空間やポケットパークなどの整備により、水辺を歩いて楽しめる環境をつくりま す。 ◇日本橋川にかかる人道橋や橋詰の空間、河川沿いの空間等を活かして、水辺に親しみながら心地よい時間を過ごせるような、両岸一体となった水辺空間の活用と連携を進めていきます。

b 都市機能連携軸（靖国通り、中央通り、本郷通り、白山通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、総合的な自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。	（基本的に方針を継承）		都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。
◇靖国通り沿道では、スポーツ用品店の集積を活かし、後背地の商業・業務施設との連携を進めることで、一層の活気とにぎわいを創出するよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。また、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。	○スポーツ用品店街の回遊の魅力をさらに高める店舗とオープンスペース、通り（道路空間などの公共空間）の活かし方 ○沿道の緑化の可能性、必要性の確認	（靖国通り） ・歩いて快適楽しい安全な歩行空間を整備してほしい。（警察通り、白山通り、明大通り）（142） ・靖国通り沿いに住宅ビルと広場が欲しい(220) ・靖国通り沿いは高層化し、裏通りは広場・公園・緑を増やしてほしい。(221) ・隣接する神保町地区との靖国通りでつながる流れを考えて計画してほしい。(222)	◇神保町地域とつながる靖国通り沿道では、スポーツ用品店の集積を活かし、回遊性と滞留性を持たせた快適な歩行空間をつくり、重点的な緑化を進めます。 ◇靖国通りの後背地では、商業・業務施設と連携しながら、様々なイベント等で来街者が賑わうオープンスペースを充実させていきます。
◇中央通り沿道では、神田駅周辺のにぎわいを生み出す商業の集積を活かすよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。	○神田駅周辺の拠点形成と沿道のまちづくりの連携のあり方 ○日本橋に連続する街並み形成や歩行空間のあり方		◇中央通り沿道では、神田駅周辺の賑わいを生み出す商業集積を活かせるよう、秋葉原駅周辺、日本橋エリアとの回遊性も意識しながら、滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。
（現行MPに記載なし） 本郷通り			（現行MPに記載なし） ◇本郷通り沿道は、日本橋川から駿河台下をつなぎ、ニコライ堂や聖橋に続く通りとして、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。
（④より移動） ◇白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。さらに、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。	○都市計画道路の事業化、電線類の地中化を踏まえた方向性 ○神保町と竹橋をつなぐ都市機能連携軸としての沿道土地利用のあり方（神保町地域⑨）		（④より移動） ◇白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくり、重点的な緑化を進めます。
◇外堀通りは、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。			都市機能連携軸ではないため、 ① ②に移動して記載

C エリア回遊軸（神田警察通り、千代田通り、神田公園地域と大手町の連携軸）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
（現行MPに記載なし）		（神田警察通り） ・歩いて快適楽しい安全な歩行空間を整備してほしい。（警察通り、白山通り、明大通り）（142 再掲） ・神田警察通りの2次工事の着工が遅すぎます。1次工事が終わってからかなりたっていますので早くかかってください。（223） ・警察通りの整備にあわせてその両側のエリアの大街区化が必要だと思います。（224） ・警察通り周辺整備を進捗させて頂きたいです。（225） ・反対する人もいるかもしれないが個人的にはぜひ進めてほしい。ぜひまちの活性化にぎわいのあるまちにしてください。（神田警察通り道路整備事業）（226） ・警察通り全体での街づくりを考えてほしい。（既存建物を残すところ、建物をまとめて大街区化するところ）（227） ・神田公園地域の中でも靖国通り沿いの方はにぎわいがあるが警察通りより南側の錦町は無機質な事務所ビルしかなくにぎわきに欠ける。（228） ・神田警察通りを中心に歩いて楽しい人間中心のまちづくりを目指してほしい。（広場、路地、開発）をつなぐ。（229） （千代田通り） ・東西方向だけでなく、すでににぎわいのある大手町とお茶の水をつなぐ南北方向の人の流れも強化してはどうでしょうか。例えば千代田通り沿いに賑わいをつくる等。（230）	近接する拠点や駅、個性ある界隈をつなぎ、日常の移動経路として利用するだけでなく、街並みを楽しみ、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。
（現行MPに記載なし） 神田警察通り			◇神田警察通りは、ひとと賑わい中心の道路への転換を目指し、緑豊かで歩行者や自転車等の移動しやすい環境を整備します。千代田通りや本郷通りで区分されるゾーンごとの特徴を活かして、魅力創出や多様なまちづくり活動を展開する軸としていきます。また、沿道にひとを惹きつける拠点整備を進めるとともに、周辺の個性ある界隈・拠点からの賑わいをつなげる回遊動線を強化していきます。
（現行MPに記載なし） 千代田通り			◇千代田通りは、大手町から古書店街、学生街、御茶ノ水駅へと続く南北の軸として、沿道の空地等の連続性を活かして、多くのひとにとって快適な移動環境を創出します。
（現行MPに記載なし） 大手町仲通りから靖国通りに続くみち			◇神田公園地域と大手町をつなぐ人道橋の整備や水辺の開発に伴う空間整備をきっかけとして、日本橋川から神田警察通り、靖国通りにつながる回遊軸を形成します。

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 外神田五・六丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、練成公園を活かし、 住宅と業務施設が調和した、落ちつきのあるまち をつくります。	○地域のアートセンターとしての役割を担うアーツ千代田 3331 を核としたコミュニティ形成と文化醸成のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認 ○今後のアーツ千代田 331 の位置づけの確認	（アーツ千代田） ・3331 を中心としたポップカルチャーのしみ出しに期待。道路をウォークアブルにして文化の育成を。（⑫）	中高層の複合市街地として、練成公園やアーツ千代田 3331（旧練成中学校）を中心に醸成されてきたアートを介したコミュニティのつながりや上野・御徒町エリアとの近接性を活かし、住宅と業務施設が調和した、 落ち着きとふれあいのあるまち をつくります。
◇近隣エリアの電気街のにぎやかさににじみ出しは極力抑え、生活に関連する商業施設の誘導を図ります。 (基本的に方針を継承)			◇近隣エリアの電気街の賑やかさににじみ出しは極力抑え、ファミリーや若い世代も暮らせる多様なタイプの住宅の供給や生活に関連する商業施設の立地を進めます。
(現行 MP に記載なし)			◇首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに対する防災性の向上のため、災害時の安全性や被害の軽減に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

② 外神田二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
全体的には中層の複合市街地として、 神田明神を地域の核 として活かし、 商業併用の住宅と業務施設が調和した、活気のあるまち をつくります。	(基本的に方針を継承) ○地区計画の目標・方針の確認	(宮本公園) ・宮本公園と神社の緑の連携創出(47) ・宮本公園周辺エリアの緑化推進、水辺の創出(48) ・宮本公園と神社の緑地の共有(49) ・明神境内と宮本公園の一体化した緑地帯(50)	中層・中高層の複合市街地として、神田明神を 象徴的な核 として活かし、商業併用の住宅と業務施設が調和した、活気のあるまちをつくります。
◇近隣エリアの電気街や湯島聖堂といった魅力資源とも連携し、 にぎわいのあるまちを形成 します。	○秋葉原の拠点機能と相互に連携しあうアーティストやクリエイターの活動を支え、スタートアップを促す環境の創造のあり方	(明神周辺) ・アキバと江戸を感じる明神エリアの連携 ・明神下に地下鉄の駅を	◇近隣エリアの電気街や湯島聖堂といった魅力資源とも連携し、 賑わいのあるまちを形成 します。
◇ 神田明神は地域の貴重な魅力資源として保全・活用 していきます。	○神田明神下など、まちの歴史や店舗等の街並み、地形の高低差を活かした街並み、環境形成のあり方		◇神田明神は地域の貴重な魅力資源として保全・活用し、 多くのひとに、親しまれる空間 としていきます。

◇ 生活のための店舗や飲食店 が並び、 憩いや集いの広場も備えた活気あるまち をつくります。	同上		◇生活のための店舗や飲食店が並び、憩いや集いの広場も備えた活気と 下町の味わいを感じられるまち をつくります。 ◇多様なタイプの住宅供給や建物のリノベーション等によって、スペースをシェアしながら柔軟なスタイルで仕事をし、交流するなど、多様なひと、世代がまちに愛着を持ってつながる場所をつくっていきます。
(現行 MP に記載なし)			◇首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに対する防災性の向上のため、災害時の安全性や被害の軽減に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

③外神田一・三・四丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、秋葉原駅周辺(旧神田青果市場等)の拠点再開発等を進め、電気・情報等の商業・業務施設、文化施設と住宅が調和した、魅力と活気あるまちをつくります。	○東京駅ー秋葉原駅ー上野駅のグローバルなビジネス、文化、芸術、観光交流の軸を形成する拠点 ○事業完了後の方向性の確認 ○地区計画の目標・方針の確認	（水辺） ・開かれた水辺空間が必要ではないか（32） ・急ぎ、水辺整備を進めて、水路という密を避けるインフラ整備が必要ではないか。（33） ・「急ぎ、水辺整備を進めて、水路という密を避けるインフラ整備が必要ではないか」という意見に賛成のコメントあり（⑦） ・水辺活用した新たな街の形成を期待している。（34） ・水辺利用がもっと促進されると良い。（35） ・ぜひ水辺のすてきな街並みを実現してほしいです。（36） ・水辺があるのに活かされていない。清潔感がもっと欲しい。（37） ・万世橋エリアの特徴ともいえる水辺空間の開発を進めるべきでは。（38） ・下町感を強めるためにも水路を活かした方が良いのでは。（39） ・万世橋付近を通るとき川のにおいが気になります。景観が（とくに夜）いいだけに残念。（⑧） （秋葉原） ・他地区との比較ばかりせず、国際的に評価されるような街を秋葉原からつくってほしい。（53） ・世界の秋葉原が確立されるまちづくりが進むことを望みます（54） ・秋葉原は世界的にも有名な街です。色々なカルチャーが存在する街ですので、再開発によって地域の安全性と国際交流が活発になる街になってほしいと思います。（55） ・アニメ好きでなくても行きやすい秋葉原になってほしい。清潔感が欲しい。（56） ・秋葉原の路地の活気を大切にしたい。歩行者優先に(57) ・早期に秋葉原電気街のまちづくりが進んでほしいです(58) ・秋葉原駅〜ワテラスの人の流れがない(59) ・秋葉原から上野まで歩行者天国をつくってほしい。（60） ・水辺を使った秋葉原のゾーン開発に期待します。（61） ・万世会館はどうなるのか。駅に近く便利。建物は使いづらい。（②） ・秋葉原の若者・外国人の流れを呼び込めるような店を若者が造れるような施策（支援策）がほしいです。（③） ・秋葉原を安心安全な街に。小学校も地域にあるんです。（④） ・JR 秋葉原から西北の大きなビルに行くとき必ず雨に濡れるように広場がつくってある。傘屋の息子が広場の設計をしたのでは？（⑤） ・秋葉原は区内屈指の交通結節点なので他区・他地域への玄関にふさわしい動きやすく楽しい町になることを期待しています。（アンケート） ・秋葉原を中心として回遊性のあるまちづくりをお願いしたいです。秋葉原にくるとわくわくさせるような仕組み、例えば、ホコ天の常設やオープンスペースの増加、水運の活用を期待しています。（アンケート）	秋葉原駅周辺の 拠点と中高層を基本とする複合市街地が連携・協調して、万世橋の歴史性や次世代の先端性、高質なアメニティを感じられる魅力 を育て、世界の人々から愛されるまちをつくります。 ◇建物の機能更新にあわせて、多様なひとが心地よく過ごし、商業・業務、文化芸術、観光交流を活発化させる空間を充実させていきます。 ◇世界から訪れる人びとに次世代のアートやカルチャー、先端技術を感じさせる活力と魅力にあふれるまちづくりを進めます。
◇再開発や常磐新線の整備を進め、住機能と業務・商業機能及び秋葉原駅の利便性が融合した、ヒューマンスケールの感じられる先進的な都市空間の形成を図ります。 周辺地域と調和・連携し、一体的な空間やコミュニティの形成を図ります。	○ICT、移動、環境・エネルギーなどの先端技術の実装が進むスマートな拠点をかたちづくる都市基盤、空間、サービスのあり方 ○クリエイティブなひとの感性を刺激し、多様な交流や連携によって新たな文化が想像される“場”のあり方		
◇秋葉原の電気街を家電からマルチメディアまでの総合的な電気と情報のまちとして育成し、世界の秋葉原としての発展に資するまちづくりを進めます。	○江戸の歴史、アート、カルチャー、次世代技術革新等が融合し、都区部で個性が際立つ競争力ある産業と文化醸成の拠点の育成のあり方		
◇常磐新線の整備に併せ、秋葉原駅の利用者の安全性や快適性を高めるよう整備を進めます。 秋葉原駅東西市街地の一体化を図り、東西を結ぶ歩行者動線を確保していきます。	○秋葉原を起点とした広域アクセスとまちの回遊のシームレスな移動環境の充実のあり方		◇秋葉原駅周辺において、 成田空港・羽田空港や東京駅・上野駅などのアクセス性を向上させていきます。 ◇秋葉原駅を起点に、 神田明神や神保町、神田須田町、神田駿河台、湯島など、個性ある界隈をつなぐ歩行空間の充実とともに、自転車のシェアリングや舟運やICT技術も取り入れて、思い思いの

		・秋葉原エリアは多くの日本文化が集っているエリア。駅や路線の数、水辺があり、今後の開発や取り組みで大きな可能性があると考え。そのためにも地域を活性化するような開発や活動をスピーディーに進めていくべきと思う。特に水路を活かした再開発なんかはイメージアップがより進んでいくと思う。（アンケート）	ビードの移動手段を選んで自在に回遊を楽しめる環境を充実させていきます。
（現行 MP に記載なし）	○中央通り沿道及び後背地の機能更新と安心して過ごせる街並み・環境と街区、空間の再生のあり方 ○アーティストやクリエイターの活動を支え、スタートアップを促す環境の創造のあり方	（外神田一丁目） ・外神田一丁目（電気街）での再開発を早く進めていただくことで、良好な水辺空間の形成、緊急輸送道路の建物の耐震化、公共施設（万世会館、清掃事務所）の機能更新が実現することを楽しみにしています。また安全、安心な秋葉原に生まれ変わることにより一層世界の秋葉原が確立することを楽しみにしています。（アンケート） ・外神田一丁目地区は、商業地区として特化すべきと思います。少子高齢社会の中で海外から客を呼びお金を使っていただかなければ世の中栄えません。そのためには海外の方にリピーターになっていただける楽しいまちづくりをしていきましょう。（アンケート） ・外神田一丁目の辺りの水辺空間を活かす都市開発を早く進めてほしいです。（アンケート）	◇スペースをシェアしながら多様なスタイルで仕事をし、交流のなかでひとやまちにつながり、ビジネスを起こすなど、新しい活力を創造し、愛着を持って生活できる場所をつくっていきます。
◇中高層の建築物が連続するなか、 活気と安らぎを感じさせる空間を創出 していきます。	○神田川沿いの連続的な開発誘導と両岸の一体的な水辺空間のデザイン、眺望の演出、空間活用のマネジメント ○神田川を軸とした舟運など、川を活かした豊かな都心生活のための機能、空間、ネットワークの再生		◇神田川では、まちに心地よい風を送る水辺空間の創出や防災船着場を利用した舟運の活用を進め、災害時に防災活動の拠点として機能するよう整備していきます。 ◇脱炭素社会にむけて先導的役割を果たすよう、街区レベルで環境・エネルギー対策を講じ、エリアの災害対応力を高める拠点としていきます。
（現行 MP に記載なし）	○首都直下地震や荒川氾濫を想定した拠点機能の継続性確保、安全対策のあり方		◇首都直下地震や荒川の氾濫、集中豪雨による浸水などに備えて、秋葉原駅周辺の拠点と周辺の再開発等の連携により、滞在者の安全とまちの機能や生活の継続性を維持できるよう対策を進めていきます。
（現行 MP に記載なし）			◇まちの顔となる駅前や通りとともに、建物背後や路地などにおいても清掃や管理活動が行き届いた、清潔で過ごしやすいまちの環境をつくっていきます。

④ 神田淡路町一・二丁目、神田須田町一丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、明治期の面影を残す交通博物館や赤レンガ、老舗などの雰囲気大切にしながら、住宅と商業・業務施設とが調和した、活気あるまちをつくります。	○マーチエキュート神田万世橋の特性を踏まえた、万世橋駅の遺構、万世橋及び神田川の水辺再生・活用のあり方 ○万世橋周辺の再生、老舗の雰囲気を活かしたまちづくりの広がり、魅力創造の展開のあり方 ○事業完了後の方向性の確認 ○地区計画の目標・方針の確認	（神田須田町） ・須田町老舗街のたたずまいを守るための施策が必要と考えます。（維持も大変とのこと）（62） ・老舗街知りませんでした。もっとフィーチャーしてほしいです。（63） ・須田町の老舗街によりフォーカスしていただいてはどうかと思います。建物が古だけでなく、古くから営業されている店も多いです。皆様地元を大切にされ、町会活動も活発です。ただ何らか守っていく施策をとっていただかないとこのコロナの下では、厳しくなっているようです。秋葉原に注目が集まりがちですが、須田町～駿河台も重要なまちと考えますので、良いまちづくりの推進を期待します。（アンケート）	江戸城の筋違門・旧万世橋駅の名残と歴史性、老舗の雰囲気、神田川の水辺などを活かしながら、中高層の住宅と商業・業務施設が調和した複合市街地として、回遊の楽しい活気あるまちをつくります。
◇淡路小学校跡地は、地域のコミュニティの核となるよう、周辺も含めた住機能の確保、良好な市街地形成を進めます。	○ワテラスの完成を踏まえた地域のコミュニティ、空間活用、エリアマネジメントのあり方 ○事業完了後の方向性の確認		◇ワテラス、淡路公園を中心に、交流・イベントなど、地域と連携した活動を広げることによって、学生や多様なひとの関係を結び、つながるコミュニティを育てていきます。
			◇秋葉原駅周辺から万世橋周辺、神田駿河台への回遊性を高める歩行空間や休憩スペース、バリアフリールート、シェアサイクルポートなどを効果的につなぎ、移動環境を充実させていきます。
			◇外堀通りは、靖国通りと神田川をつなぐ幹線道路として、緑と歩道、沿道敷地のオープンスペース等の一体性が高く、歩きやすいみちづくりを進めます。
（現行 MP に記載なし）			◇老舗がまちで愛され、長く活かされていくために、保全や維持管理の対策を進めるとともに、その周辺においても味わいあるたたずまいの要素を建築・開発のデザインに取り入れるなど、界隈性を色濃くしていく景観づくりを進めます。

⑤ 神田駿河台一（一部）・三・四丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、御茶ノ水駅周辺のにぎわい、ニコライ堂などの歴史的建築物を活かし、緑やオープンスペースを維持・保全し、文化的なたたずまいを大切にしながら、教育・医療・商業・業務施設と住宅が調和したまちをつくります。	○御茶ノ水ソラシティの完成を踏まえた駅とまちのつながり、空間活用のあり方 ○事業完了後の方向性の確認 ○地区計画の目標・方針の確認	（御茶ノ水） ・御茶ノ水駅前一体との連携を進めるような視点を持っていただきたい。(64) ・病院集積地としてのお茶の水の防災力向上、バリアフリー向上が必要ではないか。(31) ・御茶ノ水駅前のまちの将来像についてしっかり考えて実現させる活動をすべきと考えます（神田公園地域 231） ・御茶ノ水駅に駐輪場が必要（神田公園地域⑩） ・お茶の水駅前は物流車両が多く、飲食や音楽の搬出入車両も多い。ここが全て路上駐車しており、景観悪化だけでなく、歩行者の危険な事故を招く可能性が高い。物流の地域拠点を設け、地域のネットワークにより安心・安全の街になれば、多様な年齢構成が来訪する魅力あるところになると思うので茗溪通りは歩行者専用道路としてほしい。（神保町地域アンケート 13'） ・地域資源であるニコライ堂をより大切に焦点を当てたまちづくりを進めて頂きたい。（神田公園地域意見 7） ・御茶ノ水駅前のまちの将来像についてしっかり考えて実現させる活動をすべきと考えます。（神田公園地域意見 231） ・御茶ノ水駅に駐輪場が必要（神田公園地域意見⑩）	周辺の個性ある界限との回遊性を高めながら、中高層の複合市街地として、御茶ノ水駅周辺の賑わい、ニコライ堂などの歴史的建築物を活かし、緑やオープンスペース、文化的なたたずまいを大切に する 、教育・医療・商業・業務施設と住宅が調和したまちをつくりま す 。
◇御茶ノ水駅については、茗溪通りや神田川の緑、水辺と調和させるとともに、安全で使いやすい駅舎として整備を促進していきます。	○御茶ノ水駅の改修を踏まえた茗溪通りや神田川との景観・空間のつながりのあり方 ○事業完了後の方向性の確認		◇御茶ノ水駅の交通結節点としての機能を充実させていくため、茗溪通り・御茶ノ水仲通りなどの歩車共存のみちや地形の高低差のある淡路町駅からのバリアフリールートなど、駅と周辺の街区が連携・協調した機能更新を進めていきます。
◇隣接する小川町のスポーツ用品店街や、神保町の書店街とをつなぐ歩行者の回遊ルートの整備、憩いや集いの場の充実などにより、楽しく歩けるまちをつくります。	（基本的に方針を継承）	（駿河台） ・駿河台は病院も多くより一層安全なまちづくりを進めるべきと考えます（神田公園地域 232） ・駿河台下交差点から見るとお茶の水駅（楽器店街）、神保町駅（本屋街）、小川町駅（スポーツ店街）の結束（節）拠点となっている。この交通・商業の流れを考えて計画してほしい（神田公園地域 233） ・駿河台地区が学生も多く近いため多くの人が利用する複合施設があるとよい（神田公園地域 234） ・駿河台地区は大きなオフィスビル病院も多いので、環境性を重視した建物が増えるとうい（神田公園地域 235） ・駿河台下エリアに緑を増やしてほしい（神田公園地域 236） ・駿河台は病院も多くより一層安全なまちづくりを進めるべきと考えます（神田公園地域 237）	◇隣接する 神田 小川町のスポーツ用品店街や、神保町 地域 の書店街をつなぐ歩行者の回遊ルートの整備、憩いや集いの場の充実などにより、楽しく歩けるまちをつくりま す 。
◇教育施設は地域のたたずまいに調和し、開放性を高めるよう、機能更新を図ります。	○大学施設の建て替え等を踏まえた空間のつながり、連携、回遊性、活用のあり方 ○事業完了後の方向性の確認		◇教育施設は地域のたたずまいに調和し、 施設の 開放性 や空地の連続性 を高めるよう、機能更新を図 り ま す 。
（現行 MP に記載なし）			◇神田川からつながる自然度の高い空間やニコライ堂を眺める視点場など、まちの魅力を象徴する空間を充実させ、景観や環境に配慮した建築・空間のデザインを進めま す 。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（神田川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
神田川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。	○御茶ノ水駅の改修を踏まえた茗溪通りや神田川との景観・空間のつながりのあり方 ○景観まちづくり計画との整合性の確保 ○街路樹のあり方 ○事業完了後の方向性の確認	・神田川沿いの公有地はオープンスペースとして残してもらいたい(65) ・神田川上流から下流まで一貫した活用を(66)	神田川や川沿いの緑、聖橋、湯島聖堂などが一体となった眺望を保全するとともに、親水性の向上や川と一体となった街並みと眺望空間の創出、快適な歩行空間づくりを進めます。
◇親水性と水質の向上を図り、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるように努めます。 川沿いの建物などの形態を規制・誘導していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。	同上		◇親水性と水質の向上を図り、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるように努めます。 ◇神田川沿いでは、川に顔を向けた建物の配置や低層部のデザイン、緑化等により、川沿いに連続的な歩行者空間をつくり、趣を感じられる親水空間としていきます。 ◇聖橋など、風格ある橋梁や江戸からの歴史の趣を感じさせる眺望や空間づくりを進めます。

b 都市機能連携軸（中央通り、環状2号線～外堀通り、本郷通り、靖国通り、蔵前橋通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点） （基本的に方針を継承）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、総合的な自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。		・中央通りを軸としたにぎわい施設の創出をしていってもらいたい。(67) ・中央通りは車線減少させベンチを設置するといいかも。豊島区のアケバスのような顔となるのりものがあるといい。(26)	都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。
◇中央通り沿道では、世界の秋葉原にふさわしい街並みをつくとともに、電気街を訪れる歩行者のために、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくりま	○中央通り沿道の街並みのあり方 ○道路空間の活用のあり方		◇中央通り沿道では、神田駅周辺や銀座・日本橋エリア、上野・御徒町エリアと連携する軸として、世界の秋葉原にふさわしい街並みと賑わいをつくとともに、訪れる歩行者のために、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくりま
◇靖国通り・外堀通りは、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。	○沿道の緑化の可能性、必要性の確認		◇靖国通りは、東神田と神田小川町、神保町地域をつなぐ軸として、安心して回遊・滞留できるオープンスペースや歩行空間を充実させていきます。 ◇蔵前橋通りは、昭和通りと国道17号をつなぐ軸として、沿道の歩行空間を充実させていきます。
（現行M Pに記載なし） 環状2号線～外堀通り			◇環状2号線～外堀通りは、秋葉原駅周辺と水道橋駅周辺をつなぐ軸として、外濠沿いに水辺と一体となった景観をつくりま

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 神田和泉町、神田佐久間町二・三・四丁目、神田佐久間河岸、東神田三丁目、神田平河町

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点） (基本的に方針を継承)	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
全体的には中層の複合市街地として、和泉公園や公共施設のゆとりとうるおいを活かし、住宅と商業・業務施設が調和する、災害に強いまちをつくります。	○地区計画の目標・方針の確認	(神田佐久間町) ・秋葉原駅東地区の再開発事業を展開することにより駅前のランドマークにしたい。(23) ・地区計画二項道路では 50 センチ壁面後退は対象外とすべき。(33) ・私道の取り扱いを変えてほしい(佐久間町 2-12) (42)	中層・中高層の複合市街地として、和泉公園や公共施設のゆとりとうるおいを活かし、住宅と商業・業務施設が調和する、災害に強いまちをつくります。
◇中高層への住宅の整備や良好な街並みの形成、安全な歩行空間の確保などを進めていきます。	○まちの特性にあった複合的な機能誘導のあり方 (拠点開発との関係)	(東神田) ・東神田地区の多くのアートギャラリーなどをもっと皆さんに知っていただく方法を考案してほしい。折角の場が勿体ないと思う。(43) ・(東神田在住) 散歩をしているとみどりの多い台東区、中央区との差を感じます。歩きやすい歩道の整備緑の多い道やベンチの設置も考えてほしい。(44)	◇多様な住まい方を選択できる住宅の整備や良好な街並みの形成、安全で歩きやすい歩行空間の確保などを進めていきます。
◇生鮮食料品店等の生活に必要な店舗の充実を促進します。	同上	(総武線沿い) ・秋葉原駅から浅草橋の総武線沿いの道を明るく歩きやすい道にしてほしい。(45) (清洲橋通り) ・清洲橋通りを中央区にまけないような立派な通りにしなさい！！(61) ・今も味わいがありますが、もっとお店が増えてほしい。(62)	◇和泉公園周辺や清洲橋通り沿道などの立地を活かして、日常生活の利便性を高める店舗や、平日夜間や休日の生活の時間を豊かにする機能の充実を促進します。
◇和泉公園やちよだパークサイドプラザを地域のゆとり、うるおい、コミュニティ、防災等の核として活かしていきます。	(基本的に方針を継承)	(開発) ・下町の環境を残しつつ将来的に人々が住みやすい街並みを形成してほしい。(アンケート)	◇和泉公園やちよだパークサイドプラザを地域のゆとり、うるおい、コミュニティ、防災等の核として活かしていきます。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。	○集中豪雨や荒川氾濫を想定した災害対策のあり方		◇首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに対する防災性の向上のため、災害時の安全性や被害の軽減に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。
			◇神田川両岸沿いの一体的な水辺空間のデザインのもと、中高層を基本として連続する協調的な開発を進め、まちに活気とやすらぎを感じさせる心地よい空間を広げていきます。
			◇秋葉原駅とまちをつなぐバリアフリールートの確保を進めます。

② 神田練堀町、神田松永町、神田相生町、神田花岡町、神田佐久間町一丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、秋葉原駅周辺(旧秋葉原貨物駅等)の拠点再開発等を進め、電気・情報等の商業・業務施設、文化施設と住宅が調和した、魅力と活気あるまちをつくります。	○東京駅ー秋葉原駅ー上野駅のグローバルなビジネス、文化、芸術、観光交流の軸を形成する拠点 ○事業完了後の方向性の確認 ○地区計画の目標・方針の確認		東京駅から上野駅までをつなぐビジネス、文化芸術、観光交流の広域軸を形成する拠点のひとつとして、世界から訪れるひととの交流を育み、魅力と活気あるまちをつくります。
◇中高層の建築物が連続するなかに、 活気とやすらぎを感じさせる空間を創出 していきます。	○川沿いの連続的な開発の誘導と兩岸の一体的な水辺空間のデザイン、眺望の演出、空間活用のマネジメント ○神田川を軸とした水運など、川を活かした豊かな都心生活のための機能、空間、ネットワークの再生		◇ 神田川両岸沿いの一体的な水辺空間のデザインのもと、中高層を基本として連続する協調的な開発を進め、まちに活気とやすらぎを感じさせる心地よい空間を広げていきます。 ◇ 神田川を軸とした舟運など、川を活かした移動ネットワークを再生 します。
◇再開発や常磐新線の整備を進め、住機能と業務・商業機能及び秋葉原駅の利便性が融合した、ヒューマンスケールの感じられる先進的な都市空間の形成を図ります。 周辺地域と調和・連携し、一体的な空間やコミュニティの形成を図ります。	○ICT、移動、環境・エネルギーなどの先端技術の実装が進むスマートな拠点をかたちづくる都市基盤、空間、サービスのあり方 ○クリエイティブなひとの感性を刺激し、多様な交流や連携によって新たな文化が創造される“場”のあり方		◇ICT や交通、環境エネルギーなどの先端技術を実装し、ひとが主役となって都心生活を豊かにするサービスやビジネス、文化交流、コミュニティ形成など、道路やオープンスペースなどのパブリックな空間を舞台に、創造的活動が展開されるまちとなるようにしていきます。
◇常磐新線の整備に併せ、秋葉原駅の利用者の安全性や快適性を高めるよう整備を進めます。 秋葉原駅東西市街地の一体化を図り、東西を結ぶ歩行者動線を確保していきます。	○秋葉原を起点とした広域アクセスとまちの回遊のシームレスな移動環境の充実のあり方		◇ 秋葉原駅への空港からのアクセスや、まちの回遊まで、ICT 等を活用して多様な移動手段をシームレスにつなぎ、移動のしやすさを追求したまちをつくり ます。
(現行 MP に記載なし)	○首都直下地震や荒川氾濫を想定した拠点機能の継続性確保、安全対策のあり方		◇ 首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに備えて、秋葉原駅周辺の拠点と周辺の再開発等の連携により、滞在者の安全とまちの機能や生活の継続性を維持できるよう対策を進めて いきます。

③ 神田岩本町、神田須田町二丁目、神田東松下町（一部）、神田富山町（一部）、鍛冶町二丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、秋葉原・神田・岩本町の 3 駅への近接性を活かし、適正な高度・有効利用を進め、住宅と商業・業務施設が調和した、活気のあるまちをつくります。	○まちや建物のリノベーションとともに新たに増えていくチャレンジングな活動とそのための手ごろな空間・場所（活動・交流のためのサードプレイス、居心地の良い居場所）のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認	（鍛冶町） ・鍛冶町は「町火消し発祥の地」。江戸文化を今に残し粋でいなせな「義理人情心意気」の精神を受け継ぐ。（2） ・鍛冶町は職人の町。（3） ・「鍛冶ニイベント」縁起市、さんま祭り、ハロウィン、大江戸日本橋祭り、ワイン祭り、もちつき祭り、神田まるごとビアガーデン。（18） ・神田駅周辺鍛冶町一丁目二丁目を「地区計画」の対象にぜひお願いします（38）	中高層の複合市街地として、秋葉原・神田・岩本町の 3 駅への近接性を活かし、 日常の生活を豊かにするサードプレイスやまちの魅力を高める様々な活動の場、住宅、商業・業務施設が調和した、活気と創造性あふれるまちをつくります。
◇線路に囲まれた地域については、秋葉原・神田・岩本町の 3 駅への近接性を活かし、面的整備等による土地の高度利用を進め、商業・業務・住宅が調和したまちをつくります。	○個別建物の建替え状況を踏まえた機能更新のあり方		◇線路に囲まれた地域については、秋葉原・神田・岩本町の 3 駅への近接性を活かし、面的整備等による土地の高度利用や 建物の耐震化・リノベーション等をバランスよく進め、商業・業務・住宅が調和したまちをつくります。
◇神田ふれあい通りは、秋葉原駅と神田駅を結ぶ快適な歩行空間として整備を進めるとともに、にぎわいを生みだし、生活利便性の向上やコミュニティの育成にも資する商業施設の集積を促進していきます。	○神田ふれあい橋や柳森神社を活かした水辺の空間と眺望の活かし方、バリアフリー化等のあり方 ○都心生活の豊かさを高める多様な機能誘導のあり方 ○エリア回遊軸としての位置づけの可能性		◇ 秋葉原駅と神田駅を結ぶ 神田ふれあい通りや神田川の眺望・ 水辺空間を楽しむ 神田ふれあい橋、柳森神社などを活かして、まちを回遊する楽しさを広げていく空間等の創出に資する建築・開発を進めていきます。 ◇ まちの賑わいや都心の生活時間を豊かにする多様なサービス施設や店舗を充実させていきます。
（現行 MP に記載なし）	○首都直下地震、集中豪雨や荒川氾濫を想定した災害対策のあり方		◇ 首都直下地震に加え、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに対する防災性の向上のため、災害時の安全性や被害の軽減に配慮した建替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

④ 神田東松下町（一部）、神田富山町（一部）、鍛冶町一・二丁目（一部）、神田東紺屋町、神田北乗物町、
神田紺屋町、神田西福田町、神田美倉町

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
中高層の複合市街地として、神田駅東口 周辺のにぎやかな商業施設や業務施設と住 宅が調和した、活気とにぎわいのあるまちをつ くるとともに、災害に強いまちをつくります。	○新たな下町、都心生活の魅力創造に資するまち づくりのあり方（地区計画等のイメージ） ○下町の風情や味わいと既存建物のリノベシ ョン、日本橋との連携を意識した中央通り沿いの 機能更新が強調したまちづくりのつながりのあり方 ○まちや建物のリノベーションとともに新たに増えてい くチャレンジングな活動とそのための手ごろな空間・ 場所（活動・交流のためのサードプレイス、居心 地の良い居場所）のあり方	（鍛冶町） ・鍛冶町は「町火消し発祥の地」。江戸文化を今に残し粋でいなせな「義理人情心意気」の精神を受け継ぐ。 （2 再掲） ・鍛冶町は職人の町。（3 再掲） ・「鍛冶ニイベント」縁起市、さんま祭り、ハロウィン、大江戸日本橋祭り、ワイン祭り、もちつき祭り、神田まるごと ビアガーデン。（18 再掲） ・神田駅周辺鍛冶町一丁目二丁目を「地区計画」の対象にぜひお願いします（38 再掲） ・一部不動産会社の土地の買い占めが激しく理想的な「まちづくり」の妨げとなっています。是非地区計画等で検 討ご助力をお願い申し上げます。（アンケート）	神田駅を中心に江戸以来のまちの文脈を 大事にしながら、中高層を基本とする神田 駅東口周辺の複合市街地から日本橋にか けて、多様なひとが柔軟なスタイルで住み、 働き、訪れ、交流する災害に強いまちをつくり ます。
◇神田駅周辺はにぎわいを生み出す商業 集積地にふさわしい歩行空間づくりを進め ます。	まちの魅力再生・創造拠点 【神田駅周辺】 ○江戸下町の回遊の起点（駅改修の方向性） ○大手町・秋葉原・日本橋をつなぐ拠点機能 ○下町の風情やまちの文脈をつなぐ拠点形成のデ ザインのあり方 ○下町の防災性を高める空間と機能のあり方	（旧今中） ・旧今川中学校を教育文化施設としてもっと活用を！！（32） ・防災まちづくりの拠点としての旧今川中の活用など。（40） （神田駅周辺） ・秋葉原駅東地区の再開発事業を展開することにより駅前のランドマークにしたい。（28 再掲） ・日本橋からの流れを踏まえて神田駅周辺のまちづくりを考えるのは大切だと思う（46） ・数々の都市計画があるがまず神田駅周辺のまちづくり（中央通り）を進めることが全ての会社・人・店が戻り税 収が上がると思う。（47） ・個別の建て替えによる更新だけでなく、駅前立地については共同化による防災性の高い建物更新が必要。広 場等の形成のためにも高さの緩和が必要。（48） ・「神田駅」がターミナル駅として新たな魅力の発信地となるよう東口でおこなわれている、まちづくり活動を支援し て頂きたい。（49） ・神田駅を中心にまちがより活性化できるよう再開発案件などの仕組みを使って再編すべきエリアと考える（50） ・神田駅前をにぎわいの核として開発する一方まちの歴史文化を生かし、足元には多様な商業、職住近接がで きるような施設の配置が望ましい。（51） ・神田駅東口周辺も（拠点の）対象に！！（52） ・山手線（28 駅）の中で駅前に広場がない駅は神田、西日暮里、新大久保だが国道に面してるのは神田な ので神田駅東口開発をすべき（53） ・人のにぎわいを日本橋（中央区）からつなげるためにも神田駅東口（鍛冶 2）の魅力を高める。まちづくり （再開発含）を推進すべきと考えます。（54） ・神田駅の東側と西側をつなぐ軸が必要。その軸に広場や商業がはりつきにぎわい豊かなまちなみ形成がなされ るべき。（55） ・神田～日本橋～銀座に至る中央通りのにぎわいづくりが重要と思います。（56） ・神田駅前には人のたまり場や広場もなく通過動線になっていてもったいない。（57） ・神田駅東口大通りのにぎわいづくりは継続して位置づけてください。（58） ・日本橋地域との隣接や神田駅との関係性を考えると駅前に関しては業務立地としてのポテンシャルが高いと感じ ます。文化資源としてのまちなみは美しい部分もありますが所有主個々の考えに左右されてしまうため、一定の 共同化促進も必要と考えます。（アンケート） ・神田駅は非常に交通利便性の高い場所であるにも関わらず今一つ賑わいに欠ける気がします。（アンケート） ・神田駅を中心としたまちづくり（広場にぎわいなど）を考えていくことが重要。（アンケート） ・神田駅周辺のまちづくりについて、やや西口側にスポットが当たっている印象がありました。旧今川中の活用と合 わせて東口側も拠点形成していく方針となればと思います。（アンケート）	◇神田駅周辺では、大手町や秋葉原駅周 辺、日本橋・八重洲エリアをつなぐ回遊の 起点としての機能とともに、地上・地下の まちをつなぐゆとりある空間・通路、環境性 能や防災性の高い拠点機能を充実させ ていきます。
◇今川中学校の機能更新の際には、 地域 のコミュニティの核 となるよう、また、周辺の 中高層階にある 住宅と業務・商業施設が 調和した活気あるまち となるようにしていき ます。	○現状の施設活用と今後の活用・更新のあり方		◇周辺の住宅と業務・商業施設が調和した 街並みを形成しながら、旧今川中学校に ついては、地域のコミュニティの形成や防 災まちづくりの核として効果的に活用して いきます。
◇神田駅東口周辺のにぎやかで親しみやす い商業集積を活かし、生活利便性の向 上やコミュニティの形成を促進していきま す。	○日本橋との連携や下町の回遊性の起点となる神 田駅東口から中央通り沿いの機能更新と拠点 機能、空間創出・活用のあり方		◇神田駅東口周辺の賑やかで親しみやす い商業集積と大手町・秋葉原・日本橋エ リア等との連携を進める機能更新により、 生活利便性の向上やビジネス・文化芸術 を育てる場の充実、コミュニティの形成を進 めていきます。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性 に配慮した建て替えや豊かな道路空間の 創出を進めます。	○首都直下地震、集中豪雨や荒川氾濫を想定し た災害対策のあり方		◇首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や 集中豪雨による浸水などに対する防災性 の向上のため、災害時の安全性や被害の 軽減に配慮した建て替えや豊かな道路空 間の創出を進めます。

⑤ 岩本町一・二・三丁目、東神田一・二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
全体的には中層の複合市街地として、問屋街等の雰囲気を活かしつつ、新たな産業への展開を進め、住宅と商業・業務施設が調和した、災害に強いまちをつくります。	○中央区（馬喰町駅）との連携を意識 ○リノベーション、アートなどのチャレンジングな活動と文化醸成 ○新たな下町の魅力醸成のあり方	(東神田) ・東神田町会はマンションが 30 棟以上有って人口が急増している。ただしマンションは町会に加入しないし、町会の仕事の手伝いをしない迷惑な存在だ。(14) ・東神田地区の多くのアートギャラリーなどをもっと皆さんに知っていただく方法を考案してほしい。折角の場が勿体ないと思う。(43 再掲) ・No43 と同様の意見あり(4) ・(東神田在住) 散歩をしているとみどりの多い台東区、中央区との差を感じます。歩きやすい歩道の整備緑の多い道やベンチの設置も考えてほしい(44 再掲) ・神田川をもっとキレイにして舟運を進めてほしい。(5) ・東神田地区はマンションが林立乱立し、しかもワンルームが多いので腰掛住人ばかりで町会の行事には関わらないし、顔も知らない人ばかり増えるのは困る(59)	中層・中高層の複合市街地として、問屋街等の雰囲気や生業・ひとのつながりを活かしつつ、都心生活の利便性やライフスタイル・ワークスタイルの魅力を高める機能の充実を進め、住宅と商業・業務施設が調和した、災害に強いまちをつくります。
◇一ツ橋高校や(仮称)岩本町二丁目複合施設に備蓄倉庫やオープンスペースなどを設けた防災拠点の整備充実を進めます。	○岩本町ほえみプラザの機能を踏まえたコミュニティと防災の拠点のあり方		◇岩本町ほえみプラザを拠点として、町会等の従来の地域のつながりや多様なひとのふれあいを広げ、コミュニティの力や防災対応力を育てていきます。
◇(仮称)岩本町二丁目複合施設を地域の核として、周辺も含めた住機能の確保、良好な市街地形成を進めます	同上		◇下町らしい親密な雰囲気の残る街区で建物のリノベーションや建替えを進め、アートやものづくりなど、まちの魅力を高め、新しいビジネス、ライフスタイル、ワークスタイル、交流を広げる活動を展開する場所を充実させていきます。
◇防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。	○首都直下地震、集中豪雨や荒川氾濫を想定した災害対策のあり方		◇首都直下地震に加えて、荒川の氾濫や集中豪雨による浸水などに対する防災性の向上のため、災害時の安全性や被害の軽減に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。
			◇神田川両岸沿いの一体的な水辺空間のデザインのもと、中高層を基本として連続する協調的な開発を進め、まちに活気とやすらぎを感じさせる心地よい空間を広げていきます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（神田川沿い～靖国通り沿道）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
神田川に顔を向けた街並みや快適な歩行空間 をつくります。	○神田川の眺望を楽しむ公共空間や建物内の心地よい居場所（カフェ等）の誘導のあり方 ○防災船着き場や舟運ルートとしての活用のあり方 ○街路樹のあり方 ○事業完了後の方向性の確認	・神田川をもっとキレイにして舟運を進めてほしい。（⑤）	神田川に顔を向けた街並みや快適な歩行空間、 居心地のよい空間のデザイン等により親水性を高め、連続的な水辺の魅力づくりを進めます。
◇ 親水性と水質の向上 を図り、 魚や昆虫が生息し、自然浄化 できるように努めます。 川沿いの建物などの形態を規制・誘導 していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備 を進めます。	○景観まちづくり計画との整合性の確保		◇ まちから神田川を見通せる川沿いの建物や構造物、空間の配置や建物低層部のデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇ 神田川の水質改善や川沿いの緑化、歩行空間やポケットパークなどにより、水辺を歩いて楽しめる環境をつくります。 ◇ 護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 ◇ 神田川から靖国通りにかけての区域では、河川空間からの心地よい風の流れを呼び込み、都市環境の快適性を高めるよう、空地の確保、緑化等を進めていきます。

b 都市機能連携軸（靖国通り、中央通り、昭和通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、総合的な自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくれます。	（基本的に方針を継承）	・昭和通りに新たな賑わいをつくってほしい（万世橋地域意見 68）	都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくれます。
◇昭和通り・首都高速 1 号線及び靖国通りでは、道路によって地域が分断されないよう、横断のための歩行者動線を確保します。 靖国通りは緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。	○靖国通りの風の通る道などを意識した環境配慮型の沿道開発の誘導のあり方 ○靖国通り沿道の緑化の可能性、必要性の確認		◇昭和通り及び靖国通りでは、道路によって地域が分断されないよう、横断のための歩行者動線を確保します。 ◇靖国通りは神田川と一体となった環境創造軸として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。
◇中央通り沿道は、神田駅周辺のにぎわいを生み出す商業集積地にふさわしい歩行空間づくりを進めます。	○日本橋と秋葉原をつなぐ回遊の起点としての空間・街並み形成のあり方		◇中央通り沿道は、秋葉原駅周辺と神田駅周辺、日本橋エリアをつなぎ、賑わいと回遊の楽しさを生み出す歩行空間の充実や街並み形成を進めます。

C エリア回遊軸（神田平成通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
（現行MPに記載なし）		・神田警察通りのにぎわいの創出の考え方を。平成通り中央通り（南へ）つなぐような施策を。神田全体の回遊性と日本橋との連携を重視すべきと考えます。（60）	近接する拠点や駅、個性ある界隈をつなぎ、日常の生活の移動環境やエリアの回遊の魅力を高める軸として、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。
（現行MPに記載なし） 神田平成通り			◇神田平成通りは、昭和通り・首都高速 1 号線の東西をつなぐまちの回遊軸として、沿道の空地や歩道との一体性を高め、歩きやすいみちづくりを進めていきます。

A 地区別方針

まちの将来像と地域の課題を共有しながら、土地利用やまちの骨格軸等で分けられた地区別に、よりきめ細かいまちづくりを進めるための方針を示します。

① 大手町一・二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案（案）
高度な都市基盤を活かし、世界交流コミュニティを形成するよう、多様な人々に開かれた商業・業務・文化・情報拠点機能が集積し、長期滞在等の宿泊施設が充実し、環境と共生したまちをつくります。	○都心の複合的な魅力と多様性、ひとのつながりを豊かにしていくまちづくりのあり方 ○地区計画の目標・方針の確認 ○まちづくりガイドラインの確認	（大手町） ・大手町の地下道が竹橋駅ギリギリでつながっていないのが本当にもったいなく思う。錦町の活性化にもとても有意義だと思います（神田公園地域⑨） ・大手町の人の流れを錦町近辺に誘導するような方策をお考えいただきたい（神田公園地域⑩）	日本経済を牽引する中枢機能・交流機能の集積と MICE などの国際的なビジネス交流で神田・秋葉原エリアなどの周辺のまちにも賑わいが広がり、世界の人々がまちでふれあう界隈を育てていきます。
◇大規模な土地利用転換に際しては、環境の保全・創出や都心居住の実現を含めた、新たな大手町の魅力を創出していきます。	○連鎖型都市再生プロジェクトの完了を見据えたまちづくりのあり方 ○神田エリアとの連携のあり方		◇連鎖的な都市再生と高度な都市基盤整備が進むなかで、多様な人々に開かれた商業・業務・宿泊・文化情報機能の集積を進め、国際的なビジネス等で活動するひとの居住や滞在を支える機能を充実させていきます。
◇金融関連企業や新聞・通信などの情報関連企業の集積、地下鉄結節点としての大手町駅の交通利便性を活かし、日本経済の要所にふさわしい多様な人々に開かれた業務・商業環境の充実を進めます。また、世界交流コミュニティを形成するよう、文化・交流・情報機能の集積を進めます。	○アフターコンベンションや MICE など、ビジネスから文化・交流へ広がる都市機能のあり方		◇大手町から常盤橋、兜町にかけての金融の中枢機能が集積する永代通りを軸として、海外企業等の誘致や新たなビジネス創出、教育・人材育成など、国際的なビジネス交流を展開するハブとなる機能の集積を進めます。
◇生態系に配慮し、水と緑のネットワークを新たな都市基盤として整備し、緑の広場や快適な歩行空間を創出し、公開空地を活かしたネットワーク化を進めます。また、身近な緑や店舗・ショールーム・情報ライブラリー等の情報発信施設を連続させることによって、散策やショッピングなどが楽しめるよう、歩行空間を整備していきます。 地下においても店舗等が連続し、ウィンドウショッピング等が楽しめる活気とにぎわいのある歩行空間を確保するとともに、地上の歩行空間とのネットワーク化を進めます。	○緑の質のあり方 ○緑と水辺との一体性が高く、オフィスワーカーのやすらぎの空間となる地上のオープンスペースのネットワークのあり方（朝活、ランチ、夜間のサードプレイスなどを意識）		◇内濠や日本橋川から連続する空地や歩行空間を充実させるとともに、史跡「常盤橋門跡」を活かした整備を行い、都心で四季や歴史性を感じることのできる空間や生態系に配慮した居心地のよい空間を広げていきます。 ◇道路・河川等の公共空間と一体性の高い空地や歩行空間のネットワークを街区間で協調して創出し、フレキシブルに場所を選んで働いたり、出勤前・ランチ・帰宅途中に飲食店やカフェ、店舗、居心地のよいスペースを利用して、豊かな時間を過ごせる環境を充実させていきます。 ◇先端的な技術や創造的なまちづくりを応援する制度等を活用し、まちの多様な空間や施設を活かした社会実験を重ねて、都心の新しい価値やサービスをつくっていきます。 ◇空港からのアクセスや地下鉄駅、地下空間、地上のまちをつなげるルートや多様な移動手段の交通結節点としての機能を充実させます。

②丸の内一・二・三丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
高度な都市基盤と皇居への正面性、東京駅の中心性を活かし、世界交流コミュニティを形成するよう、多様な人々に開かれた商業・業務・文化・交流機能の集積したまちをつくります。	○都心の複合的な魅力と多様性、ひとのつながりを豊かにしていくまちづくりのあり方 ○東京駅周辺の象徴的景観とともに、都心の風格をトータルにデザインし、継承していくまちづくりのあり方 ○地区計画の目標・方針の確認 ○まちづくりガイドラインの確認	（丸の内仲通り） ・軸となる道路にさらなるめりはりをつけることもよいのではと思います。例：丸の内仲通りをより歩行者のためになど(18) ・仲通り軸を大丸有の外まで延伸してほしい（19）	皇居への正面性、東京駅の中心性・象徴性によってトータルにデザインされた風格ある街並みと高度な都市基盤、商業・業務・文化交流機能の集積を活かして、世界の人々の交流が広がり、多様な力がつながって、次世代の価値を創造し続けていくまちをつくります。
◇東京駅前の広場は、皇居外苑と行幸通りの緑と一体となる骨格的な緑として親しめるよう整備を進めます。	○整備完了後の広場と一体となった景観誘導のあり方 ○広場と一体となった景観、象徴的な広場の眺望を楽しむ空間のあり方		◇東京駅前の広場や行幸通り、皇居外苑が一体的にデザインされた象徴的な空間を維持・活用しながら、その風景や眺望を様々な角度から楽しめる場所を創出していきます。
◇東京駅の東西を結ぶネットワークや東京駅前広場(地上・地下)の整備・改善により、利便性の高い快適な歩行空間を確保していきます。	○駅前広場整備の完了を踏まえた歩行者ネットワークのあり方		◇東京駅の東西や、駅前広場から行幸通りと周辺街区をつなぐ地上・地下のネットワークにより、交通機関の乗換えや買い物、飲食などの利便性の高い快適な歩行空間を確保していきます。
◇行幸通り、馬場先通りは、皇居外苑にいたるシンボリック道路として、憩いとうるおいある歩行空間を確保していきます。	○象徴的拠点、エリア回遊軸としての空間・機能連携と街並み形成のあり方		◇行幸通りは、皇居外苑にいたるシンボリック道路として、憩いとうるおいある歩行空間を確保し、都心の様々なアクティビティの舞台としての活用を進めていきます。 ※馬場先通りはエリア回遊軸で記載
◇緑豊かな皇居への正面性と、東京駅の中心性・シンボル性に配慮した市街地更新を進めます。特に、日比谷通り沿道は、スカイラインの統一性を確保するなど、皇居外苑と一体になった美しい街並みを形成するよう建築物の形態等を整備・誘導していきます。	○スカイラインに関する考え方の整理（景観計画を踏まえる）		◇緑豊かな皇居への正面性と、東京駅の中心性・象徴性に配慮した機能更新を進めます。特に、日比谷通り沿道は、皇居を中心にすりばち状のスカイラインを描くように、皇居外苑や内濠と調和した風格ある建築物の形態等で、美しい街並みを形成していきます。
◇中枢的業務機能の集積、交流結節点としての東京駅の交通の利便性を活かし、日本経済の要所にふさわしい、多様な人々に開かれた業務・商業環境の充実・文化交流機能の集積を進めます。また、旧国鉄用地の土地利用転換や機能更新を進めていきます。	○旧国鉄用地の転換後のまちづくりのあり方		◇中枢的業務機能の集積、交流結節点としての東京駅の交通の利便性を活かし、日本経済の要所にふさわしい、多様な人々に開かれた業務・商業環境の充実・文化交流機能の集積を進めます。
◇生態系に配慮し、水と緑のネットワークを新たな都市基盤として整備し、これらと融合するヒューマンスケールの街並みの形成のため、壁面の位置や高さの連続性に配慮し、快適な歩行空間を創出し、そのネットワーク化を進めます。また、身近な緑や店舗・カフェテリア等を連続させ、散策や	○国家戦略特区による道路空間の活用、公共空間と民有の空地、建物内空間の連続性の強い活用のあり方 ○多種多様なエリアマネジメントや社会実験の中心舞台としての丸の内仲通りのあり方		◇丸の内仲通りを軸に、空地や歩行空間を充実させ、都心のなかでも四季を感じることでできる空間や生態系に配慮した居心地のよい空間をつなげていきます。 ◇ゆとりある歩行空間とグランドレベルの店舗が続き、道路等の公共空間を効果的に活用したイベントやカフェ・憩いのスペースの運営などと連携して、平日夜間や休日にも、多様な賑わいを創出していきます。

ショッピングなどが楽しめる歩行空間を整備していきます。 地下においても店舗等が連続し、ウィンドウショッピング等が楽しめる活気と賑わいのある歩行空間を確保するとともに、地上の歩行空間とのネットワーク化を進めます。			◇先端的な技術や創造的なまちづくりを応援する制度等を活用し、まちの多様な空間や施設を活かした社会実験を重ねて、都心の新しい価値やサービスをつくっていきます。 ◇空港からのアクセスや地下鉄駅、地下空間、地上のまちをつなげるルートや多様な移動手段の交通結節点としての機能を充実させます。
◇機能更新に併せて、歴史的建築物の保全、活用、デザインの継承を進めます。	○歴史的建築物（全部・一部）の復元など、歴史的な風格を感じるまちづくりのあり方		◇機能更新に併せて、歴史的建築物の保全、活用、デザインの継承、復元等を進め、都心の風格ある景観を継承していきます。

③有楽町一（一部）・二丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針案たたき台
有楽町駅周辺の 国際フォーラム、商業施設、映画館・劇場等の業務・生活・文化・交流施設 の集積や 銀座への近接性 を活かし、 世界交流コミュニティ を形成するよう、 生活・文化・交流施設が一層集積したまち をつくれます。	○国内外のまち・ひととつながる交流機能のあり方 ○有楽町の市街地再開発事業完成後のまちづくりのあり方 ○地区計画の目標・方針の確認 ○まちづくりガイドラインの確認	（丸の内仲通り） ・軸となる道路にさらなるめりはりをつけることもよいのではと思います。例：丸の内仲通りをより歩行者のためになど(18)	有楽町駅周辺の商業施設、映画館・劇場等の業務・生活・文化交流施設の集積や銀座への近接性、 駅周辺の公共空間等 を活かし、 世界の人々や地方都市との交流や連携が進むまち をつくれます。
◇丸の内仲通りは 憩いや集いの広場 も備えた、 緑と文化性豊かな魅力ある歩行空間 としていきます。	○国家戦略特区による道路空間の活用、公共空間と民有の空地、建物内空間の連続性の強い活用のあり方 ○多種多様なエリアマネジメントや社会実験の中心舞台としての丸の内仲通りのあり方		◇ 丸の内仲通りを軸に、空地や歩行空間を充実し、都心のなかでも四季を感じることのできる空間や生態系に配慮した居心地のよい空間をつなげていきます。
◇有楽町駅前の再開発により、新たな有楽町の顔づくりを進めます。	○有楽町の市街地再開発事業完成後のまちづくりのあり方		◇有楽町駅前の 広場（地上・地下） や道路などの 公共空間 などにおいて、地方都市の特産物の物販等による交流や多様なイベントなどが楽しめる活用を進めていきます。
◇大規模な土地利用転換に際しては、良質な環境の創出や新たな魅力と活力の創出を図ります。	○日比谷公園と一体となった東京ミッドタウン日比谷等の機能・地上地下空間の活用のあり方		※エリア再編に伴い、最下段の方針と統合のうえ、④に移動
◇スカイラインの統一性を確保するなど、 皇居外苑と一体になった美しい街並みを形成するよう建築物の形態等 を整備・誘導していきます。	○スカイラインに関する考え方の整理（景観計画を踏まえる）		◇ 皇居を中心にすりばち状のスカイラインを描くように、皇居外苑や内濠と一体となった建築物の形態等 で、美しい街並みを形成していきます。
◇ 文化・交流施設が相互に魅力を高めあ うよう、 機能連携や歩行空間等の整備 を進めます。	○日比谷公園と一体となった東京ミッドタウン日比谷等の機能・地上地下空間の活用のあり方		※エリア再編に伴い、④に移動

④ 有楽町一（一部）・二丁目（一部）、内幸町一・二丁目

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
有楽町駅前や、銀座の個性ある商業集積地への近接性、 ホテル、ホールなどの機能集積 を活かし、 世界交流コミュニティ を形成するよう、 商業・業務・宿泊・文化施設 が一層充実し、調和したまちをつくります。	○虎ノ門、新橋との連携強化のあり方	（日比谷公園） ・日比谷公園が憩いの場としてより活用できると良い。日比谷駅や有楽町駅との連携が少ないのでは（8）	有楽町駅前や、銀座の個性ある商業集積地への近接性、ホテル、ホールなどの機能集積、 日比谷公園の歴史的・自然的環境 を活かし、世界の 人々とともに文化を楽しみ、都心でやすらげるよう 、商業・業務・宿泊・文化施設が一層充実し、調和したまちをつくります。
			◇ 宿泊・文化施設などの機能を適切に更新し、界隈を特徴づける魅力を一層高めていきます。 ◇環状2号線の整備に伴う虎ノ門や新橋エリアの開発等と連携して防災性や環境性能の高い機能更新を進め、皇居や日比谷公園から続く快適な環境を広げていきます。 ◇日比谷公園から緑を連続させ、都心の眺望を楽しめる空間を創出するよう機能更新を進めます。
◇ 日比谷公園からの街並み が美しくなるよう、 建物や構造物の形態を整備・誘導 していきます。	（基本的に方針を継承）		◇日比谷公園からの 眺望に配慮した建築物の形態等 で、 美しい街並み を形成していきます。
			◇日比谷公園の歴史性や既存の劇場、映画館などとともに、業務機能と商業・文化交流機能の複合的な魅力を充実させ、歴史と文化を感じ、風格と回遊性のあるまちをつくります。
			◇文化交流施設が集積する界隈や日比谷公園との一体性・回遊性が高まるよう、地上の広場・歩行空間、有楽町駅からつながる地下空間を活かしたまちづくりを進めていきます。 ※エリア再編に伴い③から移動

⑤ 皇居外苑、日比谷公園

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
日比谷公園と皇居外苑は、皇居の武蔵野原生林に連なる大規模な緑として、周辺地域における環境共生空間づくりの中心地となるよう、大切に保全・活用 していきます。	○文化創造、健康づくりの拠点としてのあり方	（皇居外苑） ・皇居外苑の緑を周辺居住者・就業者が活用できる農地などに活用できるようにしてはどうか（10）	日比谷公園と皇居外苑は、皇居の武蔵野原生林に連なる大規模な緑として、周辺地域における環境共生空間づくりの中心地となるよう、大切に保全・活用していきます。
◇内堀通りは皇居外苑の利用しやすさや景観、環境面の向上のため、地下化を検討していきます。			◇ 皇居外苑内の内堀通りは、皇居外苑全体との一体性を踏まえてあり方 を検討していきます。

⑥ 永田町一（一部）・二丁目（一部）、霞が関一・二・三丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
中高層の中央官庁を中心とした複合市街地として、住宅、文化・教育施設等が調和した、緑豊かで親しみとにぎわいのあるまちをつくります。	○国家中枢機能を有する一団地の官公庁街としての持続性あるまちづくりのあり方		中高層の中央官庁を中心とした複合市街地として、文化・教育施設等が調和した、緑豊かで、 風格とともに親しみと賑わいを感じる まちをつくります。
◇官公庁施設の機能更新に際しては、 良好な環境の保全・創出や都心居住に向けた利用を進めます。	○都心居住に加えて、宿泊・観光・交流、文化などの複合的な都心生活の魅力創造のあり方		◇官公庁施設の機能更新に際しては、 官民連携により、良好な環境の保全・創出や居住・宿泊・観光・交流、文化的活動などの複合的な機能の充実を進め、都心生活の魅力を高めていきます。
◇一団地の官公庁施設の整備に併せて、都市計画道路補助線街路 21 号の整備を進めます。	○霞が関の官公庁街の機能更新、強靱化（機能継続性）、エネルギー利用などのあり方		◇一団地の官公庁施設の整備に併せて、都市計画道路補助線街路第 21 号 線 の整備を進めます。
◇日枝神社一帯は、 人の心をつなぐ魅力資源として大切に保全・活用して いきます。	○日枝神社を歴史的・精神的な核とする永田町・霞が関の拠点育成のあり方		※エリア再編に伴い⑦に移動

⑦ 永田町一（一部）・二丁目（一部）、霞が関三丁目（一部）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 (太字：継承のポイント)	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
※エリア再編に伴い追加			中高層の複合市街地として、居住・滞在の機能や文化・教育施設等が調和した、緑豊かで、 風格とともに親しみと賑わいを感じる まちをつくります。
※エリア再編に伴い⑥から移動 ◇日枝神社一帯は、 人の心をつなぐ魅力資源として大切に保全・活用して いきます。	○日枝神社を歴史的・精神的な核とする永田町・霞が関の拠点育成のあり方		◇日枝神社とその緑をまちの歴史的・精神的な核として保全し、周辺一帯では、その風格や環境と調和させながら、高度で多様な機能の導入を図っていきます。

B 軸別方針

個性ある拠点やまちのつながりを強めていくため、軸に沿ったグラウンドレベルのまちづくりの方針を示します。

a 環境創造軸（内濠、皇居外苑、日比谷公園、国会前庭とその周辺）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
内濠の自然を活かし、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるように配慮した空間や、美しい街並みや快適な歩行空間をつくります。	○皇居ランなど健康を育む都心生活スタイルの中での空間整備のあり方 ○景観まちづくり計画との整合性の確保 ○街路樹のあり方	（日比谷公園） ・日比谷公園が憩いの場としてより活用できると良い。日比谷駅や有楽町駅との連携が少ないのでは。（8 再掲） （皇居外苑） ・皇居外苑で屋外コンサートの利用など、芸術・交流に資する利用方法を検討してもよいのではないかと思います（11 再掲）	内濠の自然を活かし、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるように配慮した空間や美しい街並み、快適な歩行空間をつくります。
			◇日比谷公園周辺では、機能更新によって公園とのつながりを意識した緑化や憩いの空間、眺望空間を創出するなどして、都心の豊かな環境を感じられるようにしていきます。

b 環境創造軸（日本橋川沿い）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
日本橋川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。	○神田エリアとの移動ネットワークのつながりのあり方 ○街路樹のあり方	（緑・空間） ・護岸の緑化を進めてほしい、首都高地下化を進めてほしい（12） （高速道路） ・日本橋川沿い神田の住民ですが中央区側の日本橋川道上の高速道路は移設等の話題を聞くのですが千代田区の方はあまり聞かないのですがやはり川の上は明るい方がよいと思います。大手町と神田の往来もふえるはず（①）	神田・日本橋エリアのまちづくりと連携し、日本橋川の両岸の親水性の向上や川と一体となった街並み、回遊性を高める快適な歩行空間づくりを進めます。
	○地区計画の目標・方針の確認 ○まちづくりガイドラインの確認		◇連鎖型の都市再生プロジェクトや高速道路の地下化の進展等にあわせて、大手町川端緑道や憩いの空間を連続させ、多様なひとが水辺の空間で心地よく過ごせる環境を充実させていきます。
	○連鎖型都市再生プロジェクトの進展を踏まえた日本橋川、大手町川端緑道を核とした水辺の価値創造、マネジメントのあり方 ○丸の内仲通りの機能延伸部と神田をつなぐ人道橋と周辺の空間の魅力創造のあり方（将来的には丸の内仲通りの仲通り機能が延伸） ○日本橋川の舟運、防災船着き場の活用等 ○現状の高速道路地下化の方向性（神田橋から日本橋方面）を踏まえた記述のあり方 ○景観まちづくり計画との整合性の確保 ○護岸形態についての記述は継続できるかを確認		◇再開発などの際には、護岸の親水化、川沿いの緑化等を進め、まちから日本橋川を見通せる空間の配置や建物低層部のデザインを工夫し、水辺との一体性を高めていきます。 ◇日本橋川にかかる人道橋や橋詰の空間は、両岸一体となった賑わいづくりや交流が進むよう、活用と連携を進めていきます。 ◇日本橋川の水質改善や川沿いの緑化、歩行空間やポケットパークなどにより、水辺を歩いて楽しめる環境をつくります。 ◇護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。
◇再開発などの際に護岸の親水化、川沿いの緑化等を進めます。 川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導していきます。 川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。 水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。 改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。	○東京駅～日本橋エリアをつなぐ拠点となる再開発エリアの空間のあり方		◇常盤橋公園は、連鎖型の都市再生プロジェクトとあわせて、親水性を高め、江戸城・常盤橋御門の歴史性、神田・日本橋エリアとの回遊性を意識した再整備を進めます。

C 都市機能連携軸（内堀通り、永代通り、晴海通り、日比谷通り、祝田通り、六本木通り、青山通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。	○神田エリアとの移動ネットワークのつながりのあり方 ○街路樹のあり方 ○地区計画の目標・方針の確認 ○まちづくりガイドラインの確認	（骨格軸） ・秋葉原-東京-有楽町をつなぐ骨格軸も整理してほしい（1）	都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。
◇永代通り沿道では、緑豊かなうるおいのある歩行空間を創出します。	○東京駅～日本橋エリアをつなぐ拠点となる再開発エリアの空間のあり方		◇内堀通りは内濠から放射状に延びる「風の道」となる緑のつながりをつくり、街路樹や街路灯、沿道建物等のデザインが調和した美観地域にふさわしい幹線道路としていきます。

d エリア回遊軸（日比谷仲通り～丸の内仲通り～日本橋川、補助 101 号線、桜田通り、千代田通り）

現行都市計画マスタープランでのまちづくりの方針 （太字：継承のポイント）	主な論点（見直し・強化のポイント） 都市計画審議会（2020.07.07 時点）	地域の主な意見（意見 NO） オープンハウス（2020.07-08）	方針素案たたき台
（現行MPに記載なし）		（エリア連携軸） ・都市づくりのグランドデザインに書かれている日本橋や神田などの周辺地区との連携について、エリア連携軸のみならず、表現されたいかがでしょうか。（2） ・エリア連携軸を他区側各方面に重みづけして設定すべき。（3）	近接する拠点や駅、個性ある界限をつなぎ、日常の移動経路として利用だけでなく、街並みを楽しみ、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。
（現行MPに記載なし） 日比谷仲通り～丸の内仲通り～日本橋川		（神田地域との連携） ・大手町～神田のつながりを重みづけすべき（7）	◇日比谷仲通りは、内幸町から新橋・虎ノ門方面に続くエリアの機能更新にあわせて通りをつくり、エリア回遊軸を延伸して回遊性を高めていきます。 ◇丸の内仲通りは、道路空間や沿道の空地、屋内の交流スペースなどを一体的に活用して、まちを回遊しながら休息し、音楽やアートを楽しめる空間として、また、スポーツや文化交流など、都心の様々なアクティビティを楽しむ空間として活用していきます。 ◇大手町では、丸の内仲通りとの連続性を確保するほか、日本橋川の人道橋や橋詰空間、水辺の歩行空間をつなげて、神田のまちへと回遊性を広げていきます。
（現行MPに記載なし） 補助 101 号線			◇補助 101 号線は、皇居外苑にいたるシンボリック道路として、復元された歴史的建造物などを活かしながら、憩いとうるおいある歩行空間を確保していきます。
（現行MPに記載なし） 桜田通り			◇桜田通りは、桜田濠・桜田門から新たに開発が進む虎ノ門エリアへとつづく回遊の軸となるよう歩行空間等の移動環境を充実させていきます。
（現行MPに記載なし） 千代田通り			◇千代田通りは、大手町から古書店街、学生街、御茶ノ水駅へと続く南北の軸として、沿道の大学や空地等の連続性を活かして、坂道を歩く多くのひとにとって快適な移動環境を創出します。